

天幕劇場
深海洋燈

ひ
燈のあたらない川に流れる人鳥
かわ なが ペンギン

作・演出：申大樹

登場人物

溝浚いの男

放下された少女

闇のお市

手下達

手下のいぼじ

手下のほくろ

とさやの女将

ちよんの間の女達

ひろみ

なつこ

おみや

地元のヤクザ

手下達

お巡りさん

吉本の芸人

空

青年

少年時代

少女時代

ガキンチョ達

町内会の方々

隣組の方々

ジャズバーのバーテン

ジャズシンガー

溝川のペンギン
青い空ちゃん

大日本帝国海軍特殊部隊のイケメンの皆様
山岡隊長

佐世保の女郎屋

0 オープニング

○溝川

〔溝川〕

ゴミ、糞尿、ヘドロ、メタンガス。冥府の入口

〔放下す〕

放る。捨てる。投下する。物・人・想い出・核・地球・名前

〔ホルモン〕

心臓・肝臓・胃・肺・大腸・小腸・血・喉仏

〔長屋〕

複数の住戸が水平方向に連なり、壁を共有するもの。

〔人鳥〕

飛ばない・黒い羽・太陽に焼かれた・イカロス・落ちた・水死体

〔ジャズ〕

j a s s ・ j i s m ・ a s s ・ ニューオリンズ・の処女

〔チャリンコ〕

鞍・舵取り・車輪・制動装置・荷物籠

〔ゴミ達〕

引出しの飛び出した桐箆筒・車輪のひん曲がった自転車・障子の剥がれた窓枠・ホイールと別れた車のタイヤ・潰れた三つ目の信号機・石当ての的のボーリングピン・針の進まぬ時計・バネの跳ねたベッドマット・黒い羽・49人の捨てられた墮胎児達

ゴミ達の葬列・百鬼夜行

放下ほかされた水子みずこ何想う

紅掛空くれかけそらに駆ける現うつし身子

白い煙を掻き分けて

また逢おうと指きりげんまん

夢うまはしの浮橋うきはしかかうるか

月魄げつぱく降り立つその川辺

呱呱ここ々にぎわう夜去方よるさかた

星の出入り頬かすめ

もう逢えないと身を知る雨

涙流れど地獄川暗く

放下された少女何想う

ごみの百鬼夜行と何処どこへ

1空とぼく

町のガキンチョ達が進んでいる風景。スローモーション

川のほとりに一人の少年が佇む。手に持った竹びくを川に浸けて、ざっばと上げる。中には何も入っていない

青年

あの時代、便利では無かったがそこかしこに冒険があった。こうやって竹びく引きやあ色んな物が詰まっていた。(竹びくから流れる水を顔に受ける。)あの日、猫毛雨がさわさわとぼくの真っ赤なほっぺたに触れ、風に乗って名無し川の酸っぱい匂いが鼻っばしらをむずむずさせた。あの日、あの子と出会ったこの場所に、またボクはこうして立っている

背景で遊んでいた1人の少年が駆け込む。

少年

やめてよ!

ガキ1

やかましいわボケ!

ガキ2

手に持ってるもんちよつと貸せ言うてるんやろ

少年

いやじゃ

ガキ3

なんやと!鉄ちゃんやっただってくださいこんなやつ

また、スローモーションになり少年がとっちめられる。

青年

ガキ大将の鉄ちゃんはすぐに人のもん欲しがる。あの日誕生日にもらったファイブマンの人形が嬉しくってこれ見よがしに自慢したのが運のつきだった。ボクがこうやってイジメられている時、あの子は現れた。

一人の少女が駆け込む

少女

あんた達しょーもないことすなっ

ガキ2に飛び蹴りをかます。その勢いでガキ2が川に落ちる

ガキ 1

なにさらすんじゃボケえ

立ち回り

少年

すっげーフアイブイエローみたい

ガキ 3 がスカートをめくる

ガキ 3

パンツ パンツ 黄色のパンツ

少年

やっぱりフアイブイエローだー

少女

なにすんじゃぼけー！

ガキ 3 を蹴り飛ばす。川に落ちるガキ 3

ガキ 1

おい！歯ぬるぬる女！あんま調子こくなよ

少女

やかましい！屁こき男！ウチの歯はヌルヌルちゃうびつかびつかや！あんたもなにぼけっとしくさんねん。やり返しー

少年

うえっ

空

うえつとちゃう。男なんやろ。金玉ついてへんのんか

少年

え…っ…ついてるー！

少女

(落ちてる棒を拾い上げ) やったって。(少年に棒を投げる) フ

アイブレットはん

少年

(キヤッチし腰が引けたままガキ大将を睨む) ファ、ファ、ファ

アイブレット参上

持っていた棒を振り回す。スローモーション 少女にサス

青年

あの子は突然現れて、ぼくの世界をかき乱した。世界はとたんに色付き、それまでモノクロだった風景に色とりどりの彩色がなされて目がチッカチッカ、メタンガスの匂いに発酵臭、路地に咲く雑草まで、僕の鼻腔はいろんな匂いに包まれて、(手を耳にあて

る)町内の喧噪もガチャポンをガラガラ回す音も、じゃんけんぽんずこーも、まるでオーケストラのように聞こえはじめた。
…ボクの初恋のひと…あの子の名前は…

ガキ大将どぼーんと川に落ちる 2人ピックアップされる

少女

空や

少年

え?...空(見あげる)

少女

そう(指をなめ、天を指さし)空や

音楽 霧のような雨が2人を包む 照明変化

青年

猫毛雨がさわさわとぼくの真っ赤なほっぺに触れ、風に乗って名無し川の酸っぱい匂いが鼻っぱしらをむずむずさせた。あの日、あの子と出会ったこの場所で…ボクはあの子を失った

2

甘じよっぱいクッキー

7

『隣組』アレンジ

とんとん とんからりと 隣組

格子を開ければ 顔なじみ

廻して頂戴 回覧板

知らせられたり 知らせたり

とんとん とんからりと 隣組

あれこれ面倒 味噌醤油

キムチにマッコリ 密造酒

教えられたり 教えたり

上手下手に長屋が立ち並び、商店街の様相。肉屋、魚屋、紙屋、煙草屋、喫茶店などの看板たちが立ち上がる

ガキ大将が駄菓子屋から万引きをする。と、通りかかったおばちゃんがガキ大将の腕掴む。

とさやの女将　くら！ガキ！（腕掴む）なんしよんじゃー？

駄菓子屋　ばっちゃん、なにごとや

とさやの女将　なにもちんぽもあるかい万引きたれじゃ

駄菓子屋　万引きー

ガキ大将　離せやババア！

とさやの女将　だれがババアじゃ！（ごつんとげんこつ）

ガキ大将　（ちよつと素になり）え、ちよつ待ってめっちゃ痛い…

とさやの女将　その手に持つてるもん出せえ

ガキ大将　はあ？何も持っていないわ

とさやの女将　じゃかしい！ちんぽこむしゃぶりつくど（ガキ大将のちんぽこを握る）おーおー、えぱり散らしとるくせにこんまいちんぽこやのう

ガキ大将　やめれー！ほんまに…ちよつと…離したって、ほら、盗ったもん

そこにあるて（地面に落ちてる駄菓子を指差す）

とさやの女将　（もみもみ）ほーれほーれ

ガキ大将　なんでや

ガキ大将　…ちよつと…あ…こすらんで…こすこすこすらんで

とさやの女将　おーおー大きゅうなつてきわ。すうたるかー

駄菓子屋　ええ加減にせえ（女将につっこみ）

ガキ大将　（手をほどく）おぼえとけよー

腰をへこへこ去っていく。

とさやの女将　なんやちんぽこ喰いそびれたわ

駄菓子屋　色ポケ婆が何をいいよるか

とさやの女将　なんや妬いとんのか

駄菓子屋　あほいいな！誰があんたみたいな色ポケ婆

とさやの女将　何が色ポケかあんたも好きなくせに…今日も来るんやろ肉喰いにー。お宮ちゃんが待っとるで

駄菓子屋　しーしー。なんいいよるか天下の往来で

少女と少年が駆け込んでくる

少女 (息を切らしながら) はいまた私の勝ちー
少年 (ぜえぜえしながら) くっそー

とさやの女将 あいごうりまごがー。おおきゆうなつてー
少年 ちよつとやめてや、お婆ちゃん

とさやの女将 うちの大統領はチョンマルかわええのー
少年 もーどこに喋ってんねん

少女 (けたけた笑う)

少年 笑てんとたすけて

少女 アンニョンハセヨ、ハルモニー。チョヌン・ハヌル・イムニダ
少年 すげえ！空ちゃん喋れんの

少女 セヤ

少年 なんて言ったの？

少女 はじめまして麗しきお婆さま。私はハヌルといひます

少年 齒ぬるぬる

少女 (げんこつ) 空のことや

とさやの女将 なんじゃめんこい子やのー。どこの子や

少女 長屋のはす向かいの：

とさやの女将 ああ、こないだ越してきた、ご苦労さんやったな。まあ困ったこと
あったらウチにおいで。めんこい子はいつでも歓迎や

駄菓子屋

こら

とさやの女将 はいはい。ほなうちの大統領の面倒みたってなー

チャリンコぎこぎこ帰って行く

少女 さ、今日もあんたが負けたから

少年 また、おままごとー？

少女 んふー今日はお兄ちゃん役な

音楽

青年

長屋の端っこから端っこまで駆けっこして勝った方の好きな遊びをする、それが空ちゃんと僕が遊ぶ時のいつもの決まりだった。僕は本当は川遊びや、ボール遊びがやりたかった。でも年が4つ

も離れた空ちゃんには、一度だって駆けっこに勝つことはできなかった。だからボク達は、毎日おままごとをして遊んでいた。兄と妹、仲良の良い夫婦、ピクニックで戯れる恋人、学校の先生と生徒、ケーキ屋さん、お花屋さん、僕たちは何にでもなれた。舟に乗って宝探しへでかけ、ゴンドラに乗って新婚旅行へ繰り出した、気球に乗って星を広い集め、潜水艦に乗って海底人に会いにもいった。空ちゃんの大好きなペンギンのペン太だって、なんだって僕はうまいことやれたんだ。あの日をのぞいて。

あの日：一度：たった一度だけ僕は駆けっこに勝ってしまった。

音楽アウト

少年

勝った！勝ったー！！いやったー！！ボール！ボール投げし

よ！ああ待って違う！かくれんぼ、お、おじゃないうそうそう

そ！うわあああどうしよう

少女

ゆっくり決めー

少年

う、うん

少女

早くなつたなあ。駆けっこ。

少年

そやろ

少女

ほんだら：

少年

え

少年の頬にキスをする

音楽

青年

はじめてのチュウに驚いた僕は、思わず訳の分からないことを叫

少年

びながら走りさった

少女

(かたまる)

少女

ご褒美、や

少年

(叫びながら走る)

長屋の一つのガラス戸が開く

空の父 ヤー！ムオハニャー
少女 ミアネヨー

少女長屋の中へ入っていく

青年 家に帰った僕は後悔していた。

少年 なんで逃げてしまったんやろう

青年 いたたまれなくなった僕は、育ての親だった親戚のおばさんにキ
ツスのことを報告した、するとおばさんは

ひろみ そらあかん。クッキー焼かなあかん

青年 次の日なぜかクッキーを焼いてくれた

ひろみ おっ、つぎおばさん言うたらどつくと

青年 せやったわ。親戚のひろみ姉ちゃん

ひろみ よっしゃ。あんじょう気張り

少年 うん

青年 翌日クッキーを持って、ぼくは空ちゃんの所へ向かった。ほんの
目と鼻の先なのに当時の僕には千里を行く旅だった

ガラス戸を叩く

少年 空ちゃーん。あそぼー

ガラス戸を叩く

少年 空ちゃーん。あそぼー

ガラス戸を叩く

少年 空ちゃーん。あそぼー

ガラス戸を叩く。

となりのガラス戸がひらく

お隣さん おらんかったで。夜逃げや夜逃げ

音楽 少年戸を開けて中に、手紙と人形を手に取り戻ってくる

青年 戸を開けると玄関にファイブレッドの人形と一言書かれた手紙

 が一通残されていただけだった

少年手紙を読まずにファイブレッドで遊ぶ

少年 ファイブレッド参上やー

少年の手から手紙が落ちる。青年その手紙を拾う

3・とさや

上手下手のコマが周りホルモン焼き屋店内の様相

七輪を囲み肉を食う人々と肉や酒を運ぶ女将と女中

鳶職、お笑い芸人、お巡りさん、やくざ、さまざまな人が入り乱れてい
る

^^ホルモンくわせろ

『あんなー…安うてうまいんがー…猪飼野のー…ホルモンー…やねんでー』

ホルモンホルモンホルモン食わせろ

ホルモンホルモンホルモン食わせろ

せんまい まるちょう はつ みの はちのす こぶくろ あかせん

てっぼう はらみすじ やっぱりカルビが良い

『うちのカルビはただのカルビやない店の心や』

『うわでっかー』

『一億万円ー』

『うわたっかー』

ホルモンホルモンホルモン食わせろ

ホルモンホルモンホルモン食わせろ

ホルモンホルモン食わせろ
ホルモンホルモン食わせろ
でもやっぱカリビが良い

鳶 ばばあこつちにウルテくれー

お笑い芸人 こっちはカシラヤー

女将 誰がばばあじゃこら（蹴り）

鳶 いたたた、かなんな

お巡りさん なっちゃんこっち酒が切れたで

なつこ はーい

ヤクザの子分 兄貴、今日の上がり持ってきました

ヤクザ おう（ポケットにしまい）お前も飲んで行け

ヤクザの子分 へい。いただきます

お笑い芸人 たれが飛んできたでばあさん

女将 お前もドツクどー

お笑い芸人 おー叩くんやったら灰皿にしてくれー。ほら見とけーこれがパチ

お宮 パチパンチヤー

お宮 それしよーもないで

お笑い芸人 ちょっとお宮ちゃんつれないわー

お宮 タンを食べた方がいいんとちゃう？ちょっとはおもしろい事しゃ

べれるやろ

お笑い芸人 きっつー

お巡りさん あほー

皆笑いがやがや

少年を発見する

お宮 おい！少年！なにをしょんぼりしとるん？

少年 空ちゃんおらんかった

お宮 空ちゃん？あー最近越してきた子か

少年 うん

お宮 よー一緒に遊んでたなー

少年 うん

お宮 …ほんだら寂しなるなー
少年 うん
お宮 …好いとったんか？
少年 うん
お宮 どんぐらい好きやったん？
少年 うん
お宮 うんしか言わんやん
少年 うん
お宮 でもお宮ちゃんの方が好きやろ？
少年 うん
お宮 やば！可愛いっ！しゃーないなあお宮ちゃんが慰めたるか
少年 うん
お宮 (頭をなでる) おいで

2階のちよんの間に向かう

再び喧噪、ひろみビンビールを落とす、悲鳴

ひろみ 山田さん怪我してるん？
ヤクザ ああ大した事ない
ひろみ 血滲んでるやん
ヤクザの子分 兄貴、まさか一人で乗りこんだんですか？
ヤクザ おお
ヤクザの子分 声かけてくださいよ
ヤクザ あんなやつら一人で十分じゃ
お巡りさん ちよつとちよつと仕事増やさんでくれよ
ヤクザ おお、心配すんな、痕跡は残しとらん
お巡りさん おーおーおー！なんも聞かんかったことにしとこ
お笑い芸人 あれー？お宮ちゃんは？
ヤクザ お前が気色悪いからどっか行ったんや
鳶 そうじゃあほんだら
お笑い芸人 えー
ヤクザ (ひろみに) おい。坊子、どないした？元気なかったの
ひろみ なんや仲良かった子が行方不明やって

ヤクザ 女か？
ひろみ そう
ヤクザ それでかー。坊も男やのー
ひろみ なんて？
ヤクザ お宮ちゃんと上行ったで
皆 え？
ひろみ ちよつとお宮ちゃん！あんた手出したらあかんでー

2階の窓が開く

お宮 なんもしよらんよー
お笑い芸人 ちよつと、女将さん！今日は俺がお宮ちゃん買うねんで
女将 10万円や
お宮 ちよつと！そいつだけは無理
女将 じゃかしいわ。目つぶったら何でも一緒や
お笑い芸人 なんでやる：オレめっちゃ傷ついてる

皆笑う

少年顔を覗かせる

スロ―

少年 買うって何を？
お宮 あんたはまだ知らんでええ
少年 教えてよ
お宮 なんや興味ありやなあ

スロ―解除

喧噪

鳶 なつちゃんなんか歌ってくれや
なつこ えー
お巡りさん ええなー（カラオケのカセット持って）これでこのハゲ慰めたっ
てくれ

ひろみ (カセットを見て) 恋のバカンスー
なつこ ほんだらひろみも歌うて
ひろみ (カセットを入れ) ええよ

恋のバカンス

ため息のでるような あなたのくちづけに
甘い恋を夢見る 乙女ごころよ
金色に輝く 熱い砂の上で
裸で恋をしよう 人魚のように
陽にやけた ほほよせて
ささやいた 約束は
二人だけの 秘めごと
ためいきが 出ちゃう

スロー

音楽変化

お宮 空ちゃんな国に帰ったんちゃうんかな？
少年 国？どこの？
お宮 もともとおるべき国
少年 なんで？ここは国やないん
お宮 国やけど…国やない
少年 よーわからん
お宮 せやなー…お宮ちゃんもそこにおったんやで
少年 え？
お宮 小さすぎて覚えとらんけど
少年 ほんだらお宮ちゃんもおらんなるん？
お宮 ウチは帰らんよ。いや帰れん。放下されたんやもん。場所なんか
ないよ
少年 ほんだらここにおるん
お宮 (笑う) あほ、こんなどこ早よ出て行きたいわ
少年 ええ
お宮 (にこっと笑い) うそやん。あんたが大きいゆうなるまではおるよ

スロー解除

恋のバカンスの最後に戻る

二人 恋のバカンスー

歌終わり皆盛り上がる

駄菓子屋駆け込んでくる

鳶 なっちゃんかわええわー

お巡りさん ひろみちゃんもキュートやよ

なつこ きゃー、もうやめてー

ひろみ ちよつと酔いすぎよ熊田さーん

女将 (盆で二人の頭を高速たたき) お前ら金払ってから触れ

二人 すんまへーん

駄菓子屋 (駆け込んでくる) おい大変や!

鳶 きたきた! お宮ちゃんに熱心さんがまた増えたわ。

お巡りさん 今日女買うんか? ほんま逮捕するでー

鳶 あんたが言うか

駄菓子屋 もう阿呆な事いいないな。ペンギンや

お巡りさん え

駄菓子屋 ちっちゃいペンギンさん。流されてきとる

ヤクザ またか

皆外に出る

音楽

少年 ペンギンやって

お宮 あかん見ん方が良い

少年 なんでよ

お宮 ええから

音楽 舞台面、袖口から戸板の上に横たわる少女が川を流れてくる

女将達

なんまいだーなんまいだー

お笑い芸人

うわ水吸ってぶくぶくに膨れとるわ

鳶

可哀想にまだ若いのになあ

ひろみ

あれ？

ヤクザ

なんや？

ひろみ

あの子や…なんつったかな、ほら、空ちゃん

皆顔を見回す

少年

え…空ちゃん

少年お宮の手を振りほどき外を見る

少年

なにあれ

お宮

ペンギンさんや

少年

え

お宮 (少年をぎゅっと抱きしめ胸で目を隠す) ガスでパンパンにふくれあがって黒くなってたやろ

皆中に入ってゆく

お宮

お宮ちゃんな、下いって片付けしてくるで

お宮立ち上がり行こうとするが、振り返ると少年がまた見ている事に気づく。虚空みつめ深く息をすい吐くと、横目で少年みやる

お宮

もう見ん時ー(中へ入っていく)

暫く眺めている

少年、窓からげろを吐く

暗転

溝浚いの男

溝浚いの男と籠に収まっている放下された少女
男は口ずさんでいる

ほか
放下された水子何想う

くれかけそら
紅掛空に駆ける現し身子

白い煙を搔き分けて

また逢おうと指きりげんまん

放下された少女籠から飛び降りバシヤバシヤと水の中へ

溝浚いの男 あ、こら

少女水の中へ顔を突っ込む

溝浚いの男 なんか見つけたのか？おーい

少女顔をあげる

放下された少女ねじ

溝浚いの男 おーねじ

放下された少女かごかご

溝浚いの男水の中へ入る。

溝浚いの男 ぜんまい

放下された少女取手

溝浚いの男 バネ

放下された少女びよんびよん

溝浚いの男 びよんびよん

放下された少女ベル

溝浚いの男 100円

放下された少女 うわーピカピカ

溝浚いの男 ピカピカ

放下された少女 ピカピカ

放下された少女何かを発見し潜る。キューピー人形を持って水面に

放下された少女 赤ちゃん

溝浚いの男 頭

放下された少女 目

溝浚いの男 口

放下された少女 耳

ベルを鳴らす

溝浚いの男 ちりんちりーん

放下された少女 ちりんちりーん

青年入ってくる

青年 あの、何してるんですか？

放下された少女隠れる

溝浚いの男 見て分かんねえか

青年 あ。すみません

溝浚いの男 探してるんだよ

青年 何を

放下された少女 名前

青年 名前？なんの？

放下された少女隠れる

青年 あ。

溝浚いの男 なあ？この川の名前はなんだった？

青年 え

溝浚いの男 なくなった町に流れている川には名前があるのだろうか？

青年 どうしたんですか急に

溝浚いの男 かつてあった町が突然なくなった。するとそこに流れていた川は

いったい何処を流ればいい(のだろう!!)のテンションから唐突に切り替え素朴に)のですか？

青年 いや聞かれても。川はあり続けるんじゃないですかね

溝浚いの男 そんな馬鹿な！町は無くなったんだぞ

青年 川に足が生える訳じゃありませんから、ああ町がなくなるんですね

それじゃあ引越しますってわけにはいかんでしょうが

溝浚いの男 なればこそ、やはりここで良いわけだ

青年 何が

放下された少女 名前

青年 え

放下された少女 名前探すの

青年 だから何の

放下された少女 隠れる

溝浚いの男 捨てられた49人の赤子の名前

青年 え？

放下された少女 ねじ

溝浚いの男 ぜんまい

放下された少女 取手

溝浚いの男 バネ

放下された少女 びよんびよん

溝浚いの男 びよんびよん

二人去っていく

青年 一体あれは何だったのだろうか？

青年ポケットから手紙を取り出す

青年

君がほっぺにキスをしてくれた日、僕は本当は君の異変に気づいていたんだ。『ごめんね。遠くへ行く事になりました。きつとそこはラビリントス。いつかきつと私を見つけ出してね。あなたはイカロス、今度会ったら私にも羽をください。ハヌル』
あれから15年：僕は君を探し続けました。北極の氷が解けてなくなつて1つの島が沈みました。また一つの国が侵略されました。傾れ込んできた難民者は各地で無法の限りをつくしています。自由と差別を盾に暴れ回る人もいます。どこに行つても君の姿はありません。だからぼくは今日お別れを言いにきました。

青年手紙で作った舟を流す

青年

さよなら。ハヌル

去る

5

闇のお市

いぼじが川下手より頭に舟のせ浮かび上がる

いぼじ

誰だゴミを捨てたのは

ほくろも出てくる

ほくろ

だれよアタイ達を汚すのは

いぼじ

どこだ？ごみはどこいった

ほくろ

頭、頭、頭になんか乗ってるよ？

いぼじ

おーこれか。なんだこれは…舟か？

ほくろ

舟？それが？

いぼじ

まて、なにか書いてあるぞ

ほくろ なになに？
いぼじ ご、ん、あ、ぬ、す
ほくろ ごんあぬす。なんだかい響き。ちょっとかして。
いぼじ いやだ！これはおれんだい
ほくろ なによ意地悪！

ふたり揉み合う

声（お市） 何を騒いでいる

流れてくる戸板

ほくろ お市さんよお市さんだわ
いぼじ おーい皆ー！お市さんが来てくれたぞー

わらわらと出てくる乞食たち

戸板を囲み祈りを捧げる
水柱が戸板を吹き飛ばす

闇のお市神々しく出てくる。浮浪者の出で立ち

闇のお市 （言語でないものを叫ぶ）

住民達ありがたがる

ほくろ ああお市さま
いぼじ お市さまああ

闇のお市 （言語でないもので何かを訴える）

いぼじ おおい！聞け！闇のお市さまからのご神託じゃ
ほくろ きくのよ

闇のお市 は…はらへった
ほくろ お食事の用意よー！

皆各々ゴミを差し出す。お市高笑いで飯食う

へ 闇のお市

拾え拾え拾え
ゴミ山搔き分けお宝探しえ
米がねんなら代わりを探しえ
ドブを攫ってほれみろ肉じゃ
心臓 肝臓 腎臓 頭にお尻に盲腸じゃ
ここは宝の山じゃ お宝探しえ
ようめえ 幼子ようけえ眠つとる
ここさほんまに宝の山じゃ

闇のお市

ちがーう！！

いぼじ

え

ほくろ

なにがちがうんでしょうか？

闇のお市

私が食べたいのはこんなゴミどもじゃない！

いぼじ

いたいいたい

ほくろ

でもお市さん。ここはゴミ捨て場の名無し川。いつだって放下さ

れた物を食べてきたじゃありませんか

乞食1

チキンの骨

皆

ばりばり

乞食2

豚の目ん玉

皆

こりこり

乞食3

死骸の内蔵

皆

くちやくちや

乞食4

使用済みのコンドーム

皆

にちやにちや

闇のお市

ぴゅぴゅぴゅぴゅぴゅー！違ーう！わしが食べたいのは！

皆

食べたいのは？

闇のお市

愛だ

音楽

乞食 1 ペっ

乞食 2 ペっ

乞食 3 ペっ

乞食 4 ペっ

いぼじ かー

ほくろ ペっ

闇のお市 人が放下さないものそれは何だ？

乞食 1 あ金

皆 あー

乞食 2 良い思いで

皆 おー

乞食 3 残り少ない髪の毛

皆 ；（誰かが肩たたく）

乞食 4 原発処理水

皆 それは捨ててる

乞食 4 えー

闇のお市

いらなくなったもの、邪魔なもの、厄介なもの。そんなものはもううんざりだ。そこにまだ未練の残っている、愛の残っているものを私は食べたいんだ

愛ってなに？

美味しくなさそー

闇のお市

なぜ人は放下すのか！そこに愛がないからだ！原発処理水を捨てるのは、そこを泳いでいる可愛いお魚ちゃんに愛がないからだ！金はすてないだと、バカいうな！金だつて捨てている！

「水・商売」という言葉があるだろう。キャバクラに通ういかにもモテなそうなオヤジや馬鹿なホス狂いの女どもが落とす金だつて、それは金をドブに捨ててるようなもんだ！！んが、自分で金を捨てるならばまだいい。支払えなくなった売掛金を税金で救済しようねーだなんて、もはやそれは国家ぐるみで金をドブに捨てているのではないのかね！？…はあはあ…（息整え）

（テンション爆上げ）残り少ない髪の毛だと！（超高音で）バカ言うな！（ポテトに）それはお前が髪の毛の方に愛想をつかさねただけのことだこのバカ！話にならん！！！！！！

お市音止める

闇のお市　で？お前達は何を騒いでいたんだ？

いぼじ　それが

ほくろ　舟が捨てられていたんです

闇のお市　ふにえく？

いぼじ　そうです舟です

闇のお市　どれみふぁみどれ？

2人　こちらです

闇のお市　ぬー

ほくろ　どうでしょう？高く売れそうですか？

闇のお市　むー

いぼじ　100円？

ほくろ　100円も！

闇のお市　こー

ほくろ　え、だめ？

いぼじ　じゃ10円

闇のお市　そー

ほくろ　5円これ以上はまからん

闇のお市　価値無し（捨てる）

2人　かなちー

闇のお市　こいつは舟じゃない

2人　え

闇のお市　船首もなければ右舷も左舷もない、錨もなけりや陸にもつけん。

2人　こんな物が舟であるかいや！

いぼじ　ひえー

闇のお市　錨はないんですが、ごんあぬすならあります。

ほくろ　ごんあぬすー？なんじゃそりゃー

闇のお市　ごくぶとの穴かと思われます。

2人　全てを飲み込むブラックホール！

闇のお市　ごくり

闇のお市　まてまてまて、他にも何か書いてあるぞ

闇のお市手紙を広げ読む

声色がえぐい

闇のお市

『ごめんね。遠くへ行く事になりました。きつとそこはラビリン
トス。いつかきつと私を見つけ出してね。あなたはイカロス、今
度会ったら私にも羽をください。ハヌル』…これは

2人

こ、これは

闇のお市

愛だ

2人

これが愛

闇のお市

かつて大日本帝国軍が略奪の限りを尽くし隠したとされる金銀
プニヤチナ財宝の在処を示した秘密の暗号なんか目でもない。
これは愛の欠片だ

2人

金と銀がいい！

闇のお市

誰じゃ？

2人

え？

闇のお市

これの落とし主は誰じゃー！

いぼじ

それはー

ほくろ

あの一

闇のお市

喝っ！

2人

わかりません！

闇のお市

探せー今すぐ捕らえてここに連れてこーい！

皆

はい！

へ闇のお市

探せ探せ探せ

ゴミ山掻き分けお宝探しえ

米がねんなら代わりを探しえ

ドブを攫ってほれみる肉じゃ

心臓 肝臓 腎臓 頭にお尻に盲腸じゃ

ここは宝の山じゃ お宝探しえ

ようめえ 幼子ようけえ眠つとる

ここさほんまに宝の山じゃ

ふん縛られた青年捕まって登場 投げられる

6 空

青年 なんなんですかあなた達は！

いぼじ だまれ！

ほくろ お前がこの秘密文書の持ち主だべ

青年 秘密文書

いぼじ 財宝の在処を示した暗号だべー

青年 暗号！って何ですか？

闇のお市 すっとぼけーのけっ！（蹴り）

青年 いたっ！蹴りましたね！無抵抗の人間に足蹴り入れるなんてあ

んた方のモラルは一体どうなっているんだ！

闇のお市 じゃかしい！さあ吐け！この愛の欠片の結末はどーなった！な

ぜお前はこの手紙を捨てた！吐け吐け吐け！わしにお前の宝を

よこせ！

28

お市手紙を見せながら青年に絡み付く

青年手紙に気がつきお市を投げ飛ばす

お市猫のように着地する

青年 …なんですか

闇のお市 にゃにがー

青年 どうしてこれを捨てたのかと聞いているんです

闇のお市 おー怒った怒った。（変てこなステップで青年に近づき手紙を取

り返す）やっぱりこれは宝の隠し場所を示した暗号だ

2人 さあ場所を言えっ！

乞食たち 言えーっ！

青年 さっきからあなた方は一体何を言ってるんだ。あ、わかった。あ

んた達僕をペテンにかけようってんだろ。そういう新興宗教的な

あれだろ？騙してお金をふんだくろうってんだろ？お生憎様、僕

にはもう32円しか残っていません

青年ポケットの小銭を溝川に捨てる。皆群がる

皆 (金だー、とか、ほんとに金は捨てられるんだー、とか騒ぐとか)

闇のお市 おいどこへ行く？

青年 帰ります。これ以上こんな茶番に付合えません。

闇のお市 きーしゃーまー！どうしても教えないって訳だ。いぼじやれ

いぼじ ぶらじゃー

いぼじのリンチ

青年 どんな仕打ちを受けたってあなたが望んでいるものを僕はあなたにあげることにはできない。

闇のお市 まだ言うか！

青年いぼじから逃げる

2人 あっ

青年 いい加減にしてください！あんたがたが何を探しているかは知りませんがね。その手紙は宝の隠し場所でもないし、暗号でも秘密文書でもない。大体、秘密文書ならば謎をとけば良いだけだろ。その手紙には謎なんかありません。もし、あるとするならば：僕が知りたいくらいですよ

闇のお市 あん

青年 僕が知りたいくらいだと言ってるんだ！！

闇のお市 なにを？

青年 それを言ったところで、あなたは僕に僕が望んでいるものを与えることなんかできないだろ

闇のお市 ほうほう！するとお前もまだその何かを探している道半ばだよ

青年 …いや。もう諦めた

闇のお市 なぜ諦める！この手紙はまだ脈うっている！生きておる！

青年 生きてる？何を馬鹿な。とんだペテン師に絡まれたもんだよ

ほくろ

闇のお市さまは物の価値を正確に見定める心眼の持ち主。そのお市さまに向かってキサマアア

闇のお市

よせいホクロ！

ほくろ

（全然言う事きかない）

闇のお市

よせいホクロ！…よせいホクロ！よせ…あつ

ほくろ

くるちー

闇のお市

まてまて、首は絞めちやいかん

青年

何を待たばいいんですか？人の過去を安易にほじくりかえした

闇のお市

罰だ

青年

…過去？

闇のお市

…あの子はもういないんだ！

青年

…ペンギン…

音楽

青年、ホクロの首を絞めていた手をおろす

ほくろ

いてーなこんにゃろ（蹴り）

青年

（前に倒れる）…

闇のお市

15年前ひとりの少女がこの川に流れてきた。その子の名前は、

青年

ハヌル

闇のお市

…（頭抱え）違う違う。あれは彼女じゃなかった。人違いだった

青年

んだ

闇のお市

そう。人違い！お前は正しい。あれは彼女じゃなかった。ガスで

青年

パンパンに膨れ上がった真っ黒で不気味な物体が彼女の訳がな

闇のお市

い。あんなに可愛くって優しかった彼女が、蛆と蠅に蝕まれ、膨

青年

れ上がった身体から妙ちくりんなドロドロした体液を垂れ流す

闇のお市

はずがない

青年

う、ちよつと気分が

闇のお市

（不気味に笑い）あれは只のペンギンだった。お前さんが見たの

青年

は紛れもない只のペンギン。

闇のお市

…

青年

そう思ったから、この子を探すために、色んな所を旅して、世界

闇のお市

中を彷徨っていたんだらう？それも15年も

青年 …なぜそれを？
闇のお市 この川にまつわる大概のことは知っておる
青年 （瞬間信用しそうになるも逡巡する）
闇のお市 そういえば、お前さんクッキーをこの川に流さなかったか？

音楽

青年 え
闇のお市 この子と食べるつもりだったんだろう？
青年 うん
闇のお市 あのクッキーは誰が焼いてくれたんだっけ？ああ、そうだ親戚のおばさん…おっと、おばさんと呼んたら怒られるんだっけな
青年 そりゃ凄いい形相で
闇のお市 ひろみお姉ちゃん
青年 そう
闇のお市 お前さん初めてのチツスに驚いて逃げてしもうたもんだから、気まずくなってしまうんだよなあ。仲直りの印。甘じよっぱいクッキー
青年 なんてそんなことまで知ってたんだ。あんた一体何もんだよ

音楽止まる

闇のお市 わしは、このドブ川の神様だ
青年 …やっぱり新興宗教…
闇のお市 宗教が生まれるよりもっと前から住んでおる
青年 こうやって人は騙されるのだろうか…
闇のお市 いやあ、あのクッキー、あれは美味かったなあ
青年 そいつはどうも。良かったですね
闇のお市 どうじゃ？わしは何でも知っておるだろ？
青年 …それじゃ…彼女の居場所もわかるってんですか？
闇のお市 もちろん
青年 ほんとに？
闇のお市 嘘は食い飽きておる

青年　それじゃドブ川の：神様
闇のお市　お市じゃ
青年　くそつ名前を聞いたら益々胡散臭いな
闇のお市　クソは臭いもんじゃ。それにそれも食い飽きた
青年　もういいです。それじゃお市さん。藁をも掴むつもりでお聞きしますがね
闇のお市　藁を掴んだら先っぽにアブくくれ。長者になれるぞ
青年　生憎とぼくはお金を望んでいません
闇のお市　そうじゃった。それでなにを聞きたい
青年　ずばり、彼女の行方

音楽

闇のお市　それは教えてやらんでもないが、口に出すのは（皆を見て）なあ
皆　ええ
青年　ちよつと勿体ぶらず
闇のお市　それを聞いてお前さんはどうすると
青年　勿論会いにいきます
闇のお市　会うとなると：なあ
皆　ええ
青年　なんなんですかあんた達は、人に教えると言ったり教えたくない
　　といったりとんだ天邪鬼ですね
闇のお市　鬼ではないぞ神だ
青年　わかりました！もういいです！知らないなら知らないとはつきり言えばいいだろうに
闇のお市　まてまて！そう慌てるな！何も知らないとは言っていない。ただこの子は少し遠いところにいてなあ。まあ、呼び出せん事もないが：それ相応の対価を頂かねばなあ：
青年　なんだってするよ！ハヌルに会えるならなんだってする！
溝浚いの男　待て青年！

音楽止まる

花道より溝浚いの男が駆け込む

溝浚いの男

そいつの言う事を聞くんじゃない

闇のお市

おー懐かしい顔じゃのー！この川から掠みを働く盗人が

皆

盗人がー

溝浚いの男

霞を喰らうのはお前の方だ。また喰らおうというのか人の心を

闇のお市

心ー？放下されたものに心があるかいや！又シがなんぼ（放下され

れた少女指差す）その子の名前を探しても意味のうて。放下され
たら名前も失う。ただのゴミの泥人形。心は取り戻せん。心はこ
こにある（手紙をだす）さあ、こい青年。此の手紙に書かれてい
る事を成してワシに差し出せ！

溝浚いの男

やめろ。

闇のお市

ハヌルに会いたくないのか？

青年

会いたい

溝浚いの男

後悔する事になるぞ

青年

後悔ならもう散々したよ！

闇のお市

そいつを捕らえろ！さあて、ハヌルを呼び出すのに丁度良い触媒

がある（放下された少女をひん掴む）

溝浚いの男

やめろ！触れるな

闇のお市

だーまらっしやい

音楽

闇のお市からの後光がやばい

溝浚いの男吹き飛ぶ

闇のお市

おい青年、ハヌルに会ってどうする？

青年

…そんな先々のことまでわからないよ

闇のお市

まあいい。約束しろ。どんなかたちでも愛すると

青年

約束する

闇のお市

（不気味な笑い）崩れるゴミ共！湧けへドロ達！立ち込める黄泉

へ誘う煤煙！散って弾けて混ざり合えー（放下された少女をドブ

川に捧げる）

壁になっていたスクラップキューブが崩れていく。大きなキューブ2個

が前に出てきて着水する。放下された少女にゴミ達が重なってゆく。上手下からの放水が止むと、放下されたもので形成されたひとりの女性が立っている

da

ゴミ達の葬列・百鬼夜行

放下ほかされた水子みずこ何想う

紅掛空くれかけそらに駆ける現うつし身子

白い煙を掻き分けて

また逢おうと指きりげんまん

夢うきほしの浮橋かかうるか

月魄げつぼく降り立つその川辺

呱呱ここでにぎわう夜去方よるさかた

星の出入り頬かすめ

もう逢えないと身を知る雨

涙流れど地獄川暗く

放下された少女何想う

ごみの百鬼夜行と何処へ

青年 あなたは？

空 空や

青年 ∴空？

空 そう。(指なめ天指し) 空や

1幕 終

長屋の戸板が立ち並ぶ
一枚の扉が厳かに開く

ミツキデラックスが神妙に入ってくる

『10分間の休憩のアナウンス』

山岡イケメン特殊部隊

けたたましく警報が鳴り響き、慌てふためいた隊員達が駆け回る。
隊員達は米兵の洋装、着崩している者、肌を露出するもの、長髪の者、
個性的な面々

潜水艦のハッチが奥に佇み ハッチは閉まっている
なぜか青年とハヌルの姿もある。

北村

敵船駆逐艦接近中！敵船駆逐艦接近中！

段

直ちに旋回！全速前進

小林

おいそこのお前、ぼーっとするな早く警報を止めろ！

青年

はい

水野

船首を3上げ

皆

3上げ

水野

船尾を3下げ

皆

3下げ

山形

よしスクリューを切って水平方向を保て

皆

水平方向を保て。地核を宥め地表と添い寝するが如し

水平のポーズ なぜか二人一組で抱き合う

青年

あの、どうしてこんな事になってるんでしょうか？

ハヌル

私に聞いたって分かる訳ないでしょ

小林

そこくっちゃべるな

2人

はい

北村

敵船駆逐艦真上にいます

山形

固まって身を潜め、ソナーに耳すませ

皆あつまりなんだか艶かしいポーズ

水野

爆雷来ますっ

爆雷の音 水柱 皆崩れる

ハヌル ちよつとひつつきすぎよ

青年 そんなこと言つたつて

皆 しー

水野 まだ来ます

爆雷の音2発 水柱 皆崩れる

北村 現在水深120メートル

小林 船体に以上はないか？

北村 僅かに軋む音がします

水野 水深130メートル

水野 水深140メートル

離れた場所で爆雷の音

ルカ 水深150メートル

2人 もう限界です

北村 慌てるな我ら選ばれし山岡特殊部隊

小林 いつも隊長の仰っている言葉を思い出せ

皆 苦しい時こそスマイルアップ

水野 敵船スクリー音が消えました。敵船通過

皆 やったー

山形 高度を上げろ

皆 高度を上げろ

小林 圧力に気をつけてな

水野 髪の毛整えてな

北村 着衣に乱れあり

段 埃を払ってな

北村 慰謝料もちゃんと払ってな

水野 さあそろそろ隊長の来る時間だ！支度にはいれ

隊員達

(応、等それぞれ)

皆去る

青年 戸板を開けようとするが開かない

青年

なんなんだここは

ハヌル

潜水艦の中でしょ

青年

それは分かっていますよ！

ハヌル

そんな大声ださないでよ

青年

なんで僕らはここにいるのかって聞いているんです

ハヌル

だから私に聞いても分からないって言っているでしょ

青年

ちよつと整理させてください

ハヌル

整理させてあげます

青年

僕たちはあの思い出の町で再会したんですよね

ハヌル

したよ

青年

それで無くなったはずの長屋の戸板を二人で開けた

ハヌル

二人であけて二人で閉めた

青年

やっぱりこれは夢なのか

ハヌル

夢なら私はなんだ？

青年

ほんとに空ちゃん？

ハヌル

ハヌルです

青年

歯ぬるぬる

ハヌル

(げんこつ) 歯はぴっかぴかや

青年

(頭を押さえてる)

ハヌル

どした

青年

(嬉しそう) 痛い

音楽

ハヌル

泣いてんの？

青年

：夢じゃないんですね

ハヌル

そう何度も言ってる

青年

：どこ行ってたんですか？

ハヌル え？
青年 今までどこにいたのかって聞いてるんです
ハヌル どこっていわれても
青年 どんだけ探しまわったとおもってるんですか
ハヌル そんな事言われてもわからんもんはわからんがな
青年 自分のいた場所もわからないんですか？
ハヌル あんたは自分のいた場所わかんのか
青年 そりゃもう覆うべくもなく
ハヌル わかったつもりになってるだけじゃなく？
青年 なに言ってるんです？
ハヌル 良くあるでしょ。気付いたら見覚えのない町に立っていること
青年 あるかな
ハヌル あるよ。あるある。現にここはなんだ？
青年 たしかに
ハヌル 知らない場所なのになんだか妙に懐かしく感じたり
青年 あ、それわかる。こないだある島に行っただけですけどね
ハヌル でいごの花咲く？
青年 いや、花は咲いてませんでした
ハヌル ちえっ
青年 それでね、そこは海面が年々上昇していて、半分以上海に沈んで
ハヌル るんです
青年 それはえらいこっちゃ
ハヌル えらいこっちゃです。だからその島の人たち、作物が育たない
もんだから肉ばっか喰ってるんです
ハヌル 肉はすつきやで
青年 それも、よその国が廃棄している油や内蔵ばかり
ハヌル 放下すものなんか何ひとつない
青年 それ見たとき、ああ何だか懐かしいなあって。貧しい国だったけ
ど、なんだか皆幸せそうで
ハヌル それ葉っぱばかりすってるからじゃろ
青年 よくわかりましたね
ハヌル あんたの経験するようなことは大概わかる
青年 大概も

ハヌル 覆うべくもなく

青年 (嬉しそうに空を見ている)

ハヌル どうしてそんな所にいったの

青年 どうしてってそりゃ

ハヌル そんなにウチに会いたかった？

青年 (強く抱きしめる)

ハヌル う

青年 会いたかった

隊員1 駆け込んでくる

水野・北村 こらそこ！座内恋愛は禁止だといつも言ってるだろ

二人離れる 気まずい

ハヌル 力強くなったんだね

青年 え？

ハヌル ぎゅっ(抱きしめるポーズ)

青年 ああ、そりゃもう色んな経験しましたから…痛かったですか

ハヌル ちよこつと

青年 すんません

ハヌル うえつてなるほどには

青年 うえつ

二人笑うがちよこつと気まずい

ハヌル あんたが見つけてくれなかったら私はまだあそこにいたんだね

青年 どこ？

ハヌル 知ってるはずなのに知らない町、知らないのになんだか懐かしい人たち。そこじゃ声をかけても誰も気付いてくれない。真っ暗な町、まっくらくらなひとたち。あの人にそっくりだけどあのひとじゃない

青年 僕もそこにいた？

ハヌル いなかったよ

青年 残念

ハヌル 覗いてた

青年 え？

ハヌル あんたはずっと覗いていたよ

隊員達駆け込んでくる

北村 総員整列！隊長がお着きになられたぞ

隊員達奥から順に立ち並ぶ

北村 番号！1

後藤 2

山形 3

小林 4

段 5

水野 6

青年 7

ハヌル 8

北村 構え！ゲットダウン

隊員1ハッチに向かい ハンドルを回す

音楽

ハッチが開くと逆光の中山岡隊長が入ってくる
ガシャーン

山岡 模擬訓練ご苦労！

皆 ありがとうございます

北村 本日の模擬訓練のご報告をいたします

山岡 うむ

段 かねてより懸案の米国西海岸上陸作戦

水野 われわれは太平洋を横断中

山形 遠方より敵船駆逐艦が接近してくるのを発見
直ちに潜水開始

小林 気配を殺し爆雷をやりすぎします

水野 敵船が去るのを待ち

水野 再浮上

山形 米国西海岸に航路をあわせ

北村 鬼畜米英を根絶やしにしてやります

山岡 ばっかもーん

皆 わー

山岡 君たちは選ばれし特殊部隊だろ

皆 はい

山岡 敵船に見つかる事くらいで狼狽えていてどうする！いいか！そもその前提が間違っておるのだよ。君たちはこの部隊に入るために、大日本帝国軍の中で最も厳しい条件をくぐり抜けた選ばれし男達。君たちは何をもってここにいいのか

皆 は（気づく）

山岡 そうだ！君たちは日本中の大和男達から選ばれし好男子・美文夫・ナイスガイだ！合格者たった6名の超難関オーディションを勝ち抜いた真の傾き者・イケメン達だ！

皆 はい！

山岡 君たちは米英人になりすまし、そして欺くために集められた隠密特殊部隊。敵国にて、日中堂々たる振る舞いで米英人として生活し、夜間、隠密活動を開始する。時には敵基地にて敵機を焼き払い、時には敵司令部に潜入し幹部を殺害。一挙にこの戦局を我が大日本帝国軍に傾けることを大本営は望んでおられる！

皆 はい

山岡 ならば君たちが行うべき訓練は何だ！タンゴだ。ルンバだ。サンバでマンボでチャチャチャだよ！

音楽 チャチャチャ

踊り出す隊員達

青年

僕たちは一体何を見させられているんだろうか

ハヌル 1944年、敗戦色間近の折、大日本帝国海軍陸戦隊が発案した
S特別陸戦隊。その中でもひと際特殊な任務を受けた呉鎮守府第
101特別陸戦部隊のようね
青年 おー（思わず拍手）ハヌルさんえらく詳しいですね
ハヌル っとお市さんが言ってた
青年 そうなの？でもなぜここへ
ハヌル おじいちゃんが居た部隊だっ
青年 え？ハヌルさんの
ハヌル ちがうちがうあんたの
青年 僕の？あれが僕のじいちゃん？まさかイケメン部隊の隊長だっ
たとは…それじゃ、僕にもイケメンの血が流れているんです
ハヌル ちがうちがう。あんたのおじいちゃんはこの部隊の給仕係り。

給仕係のポテト登場

ハヌル ノットイケメン
青年 知りたくなかったです
ハヌル ちなみに一度も実践投入される事もなく部隊は解散すること
なったわ
青年 え？
ハヌル というかハヌルさんってなによ。どうしてさんづけ
青年 なんだか気恥ずかしくって
ハヌル ハヌルと呼んで
青年 それじゃ…ハヌル
ハヌル はい
青年 早くこんなところ出ましよう
ハヌル だめだよ
青年 なぜ
ハヌル 言われたでしょ。長屋の扉の先でしか私は存在できないって
たしかに、お市さんはそう言っていました。それに、イカロスの羽
を見つければ外の世界にいけるとも
ハヌル イカロス？

青年手紙を取り出す

音楽 ひとりアレンジ

青年

あなたが書いたこの手紙。なにか、ヒントになるようなこと覚えていないんですか？

ハヌル

どれどれ

青年

これこれ

ハヌル

私こんなこと書いたっけなあ

青年

それも覚えていないんですか？

ハヌル

手紙を書いたことは覚えてる。

青年

15年も前の手紙だから内容を覚えていないのは仕方がないか

ハヌル

これを書いた日のことも

青年

え？

ハヌル

あんたが駆けっこに勝ってあんまり喜ぶもんだから私はあなたの頬にキスをした

青年

はい。ご褒美と言われました。それっきり、どんなご馳走も、誕生日プレゼントだって、とてもつまらない物のように思えて。でも次の日あなたはいなかった。なぜ突然いなくなっただけですか？

ハヌル

なぜだったかなあ

青年

肝心なことばかり忘れて

ハヌル

あんたを好きだったことは覚えているよ

青年

そんなにストレートに言われると驚きます

ハヌル

照れるな照れるな

青年

しかし、ヒントもなしに羽をどう見つければ…

ハヌル

でもこの手紙に、羽はあんたが持つてると書いてある

青年

持つていませんよ

ハヌル

でもあんたはイカロスって

青年

それはハヌルさんがそう書いただけで僕はイカロスなんかじゃ

ハヌル

ありませんよ

ハヌル

じゃ、あんたはなんじゃ

青年

なんじゃもんじゃもなく、僕なんか精々がイカの丸焼きくらい

ハヌル

のもんです

ハヌル

それだ！

青年 え？

音楽 マンボ

ハヌル イカロスには調子に乗って太陽に焼かれるんだろ

青年 ええ

ハヌル ならあんたを焼けばいい

青年 ちよつと何いつてるかわからないです

ハヌル お調子者のあんたが焼かれれば羽が残るかもしれないってこと

青年 ちよつとどこいくんですか？

ハヌル 上着を脱ぎ捨て、踊りながら何かを取りに行く

青年 なにを持ってきたんですか？

ハヌル そこにあった灯油

青年 それを僕にかけると？

ハヌル だめ？

青年 ダメですよ

電話が鳴り響く 受話器が空中から降りてくる

水野 隊長！大本営から電話であります！

青年 なぜ潜水艦に電話がある

山岡 作戦開始の合図か

水野 いえ！作戦を中止せよとのことですよ！

山岡 ！！

皆 ！！

青年 凄いショック受けてる。あれで本気で行く気だったのがまた凄い
またか…またなのか…東条はどうした！井上は何をしている！

山岡 世界屈指の海軍を率いておきながら何を臆することがある！
我々が敵陣にもぐり込めば3日で敵国を焦土と化してくれると
言う物を！それともこの軍神山岡が活躍することがそんなにも
妬ましいのか！やんぬるかな大日本帝国！もういい、出撃の準備

をしる！

水野 だめであります

山岡 なぜだ！

水野 原子力爆弾が使用されたとのことです

皆 ！！

山岡 そうか！とうとうあの実験が成功したのだな！大日本帝国海軍が秘密裏に行っていた原子力爆弾製造を目的としたF研究。不可能とさえ言われたこの実験をとうとう成し遂げたか荒勝！

水野 いえ！使用したのはアメリカ合衆国であります。

山岡 なんだと…それで、大本営はなんとやっている

水野 全面降伏と

山岡膝から崩れ落ちる

音楽

山岡 私は一体何をしていたのだ。戦地に一度も赴くこともなくこの戦争が終結するというのか。ふざけるな！この山岡が出撃するまでこの戦は終わらない。例えば山岡部隊一隻になろうとも立ち向かってやる。さあ、準備にかかれ

山形 まってください隊長。戦争は終わったのです。むぎむぎ死ぬ必要があるのでしょうか？

隊長 なに

段 そうです！本国には私たちを待っている家族がいるのです

水野 私には妹がいます。父と母はこの戦争で帰らぬ人となりました。

北村 私がかえらねば、妹は一人きりになってしまいます

山岡 私には婚約者がいます。いえ、戦地に赴く際に最後の別れは済ませてきました。ですが、ですが、戦争が終結したと聞いた時、私は、私は、あいつの顔が目に浮かびました。私はあいつのもとに帰りたいであります！

山岡 ふざけるな！

隊員の顔を殴りつける

隊長

ならばお前達に問う。友にどう顔向けをするというのだ？

特攻で散っていった友たちにどのように顔向けをすればいいというのだ。あいつらにも家族がいた、無事を願う母が、愛する者がいた。それでも出撃し散り、国家の礎となった友たちにどう顔向けをするというのだ。

隊員達

申し訳ございません！

隊長

もういい！お前らのような腑抜け達はこの山岡部隊には必要ない！本日この日よりキサマ達は除隊だ。小型船を出しどことなりと行け！

小林

待って下さい！私は最後まで隊長とともに

隊員達

（私もです私もです）

隊長

くどい！！さっさと行け！待っているものがおるのだろう

隊員達敬礼する

隊員達

お世話になりました

隊員達一人ずつ入口より去っていく。一人残る

北村

：隊長。隊長も帰りましょう。俺たちと一緒に

隊長

私には待っている者などおらんよ。家族も、愛するひとも

北村

（無言で敬礼し去る）

隊長

それならば、ここで散ろう。花々しく散ってお前達の方まで友たちに詫びよう

警報が鳴る

隊長

なんだ！何事だ

爆発音

暗転

玉音放送

咀嚼音

ゆっくり明転
青年気がつく

青年

なにがあったんだ

倒れているハヌルに気が付く

青年

大丈夫ですかハヌルさん？ハヌルさん？

ハヌル

う：うん

青年

大丈夫ですか

ハヌル

ねえ、この音なに？

青年

え？

二人振り返る

周りには隊員達が横たわっている

何かを食べている隊長

二人

ひっ

ハヌル

あの人何食べてるの

青年

わかりません。わかりませんが嫌な予感しかしないです

給仕係に扮したお市が登場

お市

隊長さーん。次のお肉の用意が出来ましたよ。〇〇のポワレ・バルサミコソースがけですよー

隊長

あ、あ、あ

お市

ありゃま、こんなに残してお残しはいけませんよ

ハヌル

あんたそれ何出してんのよ

お市

なについてそこに転がってる肉じゃ

いぼじとほくろ出てくる 転がっている隊員の肉を「そーれ」と切る
青年気絶する

ハヌル

ちよつと大丈夫？ねえ？ねえってば！

お市

だらしない奴じゃな。こりゃただの人形じゃ。よく見ておけ。

ほくろ

おい、いぼじほくろ片付けておけ

ハヌル

はい

お市

ねえ、どうして私たちをこんな所に連れてきたのよ

お市

そんなものは決まっておろう。手紙に書かれている物を手に入れ

ハヌル

る為じゃ

お市

それがイカロスの羽？それがここにあるっていうの？

ハヌル

そんなことはわしゃ知らん

お市

じゃもう帰して！

ハヌル

どこへ？

お市

私たちの元居た町に

ハヌル

お前のいた町はもうない。それにお前はまだここから出られんよ

お市

なぜよ？

ハヌル

お前の身体はゴミでできている。ここから一步でも出てみい。朽

お市

ちてしまうぞ

ハヌル

…私のごみなの？

お市

…

ハヌル

うすうすは気付いておりましたが、わたしは一度しんだのです

お市

か？

ハヌル

今はいきでおる

お市

今は？

お市

用が済めばここに転がっているものと同じ泥人形になるだけだ。

ハヌル

ここは放下された物達の記憶の残滓で出来ている世界。

お市

お前に関わり合いの深い記憶が引き寄せられているだけだ

ハヌル

私この人のおじいちゃんのことなんて知らないよ

お市

お前が知らずとも向こうはよく知っている。これはお前の出生前

ハヌル

からの記憶を遡る旅だ

お市

なんのために？

ハヌル

お前が生きてあの男と添い遂げる為に

お市

できるの？

ハヌル

さあ、それはお前次第だ。…どうだ？あの男と生きたいか？

ハヌル

…生きたいよ

お市

なら、次の戸板を開ける。記憶の残滓をすくい取れ、そうすれば
自ずと探し物も見つかるじやろう（去ろうとするが立ち止まり）
それともうひとつ、時間はさほど残されてはおらんぞ

お市去る

ハヌル青年を膝枕し、手紙を眺める

ハヌル

私に記憶がないばかりにごめんないね。でも、本当にこんな
こと書いた覚えがなくなつてさ。（手紙しまい、頬ぺちぺち）おー
い起きないかあ、あまり時間がないんだってさあ…まったく世話
が焼けるなあ（青年を引きずり）昔っからこうだよこいつは、い
ざって時に頼りにならないんだからさ。戸板は二人であけて二人
でしめるもんだらう。んしょ、んしょ、まったく図体ばかりで
つかくなりやがつてさ。肝っ玉は小さいままでやんの。

ハヌル戸板の前に青年を引きずりもたれさせかける

ハヌル

はあ。ちよつと休憩。…ぷ、こいつ、寝顔も全然変わんないんで
やんの。ああ、可笑しい。ほんと可笑しいなあ…あんたのことは
全部思いかえされてくるのになあ…なんでだろうな…あつ、そう
いやあんた、私の残したファイブレッドの人形で大喜びして手紙
そつちのけにしたろ…まったくそういう所なんだよな。どこか抜
けてるんだよ。私が死んで川に流された時だつてそう、あんたが
ボ吐くんだもん。うら若き乙女の死骸をみてゲボ吐くなつて。ほ
んとデリカシーにかけるんだよなあ。…あれ…そつかあ…私やつ
ぱり一度しんだんだ…

なんとなくそうかなあつて思つてたけどさ。いやあ、いざ実感す
るときつついね。あつ、いけねいけねとれちゃつた。（腕もげる）
強く握りすぎちゃつたかや。おつ、いいの発見。あそこに落ちて
る肉片で…よしついた。うん、指のきつききまでよく動く。…い
やあ、まいったまいった…こんな人間じゃないよね…ごめんね
…こんな気持ち悪い姿で現れて。あんたが見たら嫌いになつちゃ
うね。あれ、おかしいな。死んでたのに、どうしてゲボ吐く所見

てるんだ？これは、誰がみた記憶？あれ…私は…あつ、なんか寒くなってきたぞ…あれれれ。急がなきゃ

ハヌル戸板へ

ハヌル

しよーがないなあ。先に行つて様子みてくるね

ハヌル戸板を開け入つて行く 逆光が差し込む
戸板がひとりでに閉まると、別の戸板が開く。

青年起きる

青年

あれ、ハヌルさん？ハヌルさん

青年、ハヌルと別の戸板へ入る

8 佐世保の遊郭

セットが転換されて行く 2階家の提灯がともる 赤襦袢の女達
そこには煌びやかな着物を身に纏つたミツキデラックスの姿が

ミツキ

おいでまつせー

ハヌル

あの、ここはどこですか？

ミツキ どこですかつて、世界の市場、長崎たい。今日はどげんしたとで
すか？ここに働きにきよつたとですか？

ハヌル

は？

ミツキ

おい初枝ー

初枝

はいー

若かりし女将の姿

ハヌル

！

初枝

はい女将さん

ミツキ

こんひと遊女見習いばい。ここで働きたいんじやと。話しば聞い

たつて

ちよつと違いますよ。

よかよか。うちやつたら、南蛮でも紅毛でも買い手はいっぱいあるけんね。なんか事情がおありみたいやけんゆっくりばしていかんねえ。初枝。カステイラでもだしてあげんねえ。

初枝 カステイラを取りに行く

ミツキ

それじゃ、うちや用事があるけん、失礼いたします

ミツキ 去っていく

ハヌル

あいつ、ちゃんと起きたかなあ…

初枝 戻ってくる

初枝

なにをぐずぐずしよるとね！はようこれに着替えんねえ

ハヌル 襦袢を渡される

初枝

何をぼけつとしよるとね。このうすのろ、とんま。たいがいにせんねえ

ハヌル

ごめんなさい。あの

初枝

口答えしなしゃんな！あんたは遊女見習いばい。同じチエジュ出身やけんって甘うみなかばい

ハヌル

はい

初枝

まあ、よかばい。今日はうちは機嫌がよかよ。なしてかわかる？

ハヌル

わかりません

初枝

頭かわるか？うちを懇意にしとー人が来てくれるんばい

ハヌル

はあ。

初枝

朝子。うちん助けばしっかりするんばい

ハヌル

あの私の名前は

初枝

日本風の名前のが働きやすかろ？うちらはふたつ名前がつかえ

ハヌル
はい
ておとくばい。ほら、急がんねえ。朝子

初枝とハヌル戸板を開け去っていく 青年別の戸板より入ってくる

青年
ハヌルさん？ハヌルさん。どこ、行っちゃったんだあの人は。

ミツキ別の戸板より現れる

ミツキ
おいでまっせー
青年
あのここは？

ミツキ
どこですかって、世界の市場、長崎たい。今日はどげんしたとで
青年
すか？おなごでも買いにきよったとですか？
いや違います

ミツキ
おい幸江
幸江
はいー

幸江戸板より登場

青年
！
幸江
はい女将さん

ミツキ
こんひと女ん子買いにきたひとばい。やーらしか女ん子探しよー
青年
ごたーけん、話しば聞いたって
ちよつと違いますよ。

ミツキ
よかよか。うちは、南蛮でも紅毛でも色々揃う取りますけんね。
なんか事情がおりみたいやけんゆっくりばしていかんねえ。幸
江。カステイラでもだしてあげんねえ

幸江カステイラを取りに行く

ミツキ
それじゃ、うちゃ用事があるけん、失礼致します

ミツキ去っていく

青年

ハヌルさんどこに行ったんだらう

幸江戻ってくる

幸江

どうぞ

青年

どうも…あの…

幸江

はい？なんやろうか？

青年

ひろみおばさんですよ？

幸江

違う

青年

ごめんなさい。人違いでしたか

幸江

ひろみはうちが産んだ子。そして捨てた子

青年

は？

幸江

そして初枝さんに譲った子

青年

そうでしたか…色々と事情があったんでしょ？…あの、ひろ

みおばさんはぼくの育ての親でした。ひろみおばさんの本当のお母さんに会えたなら嬉しいです

幸江

食べんと？

青年

あ、いただきます

幸江

うまか？

青年

はい…

幸江

うちな、甘いもんにお塩ふるとが好いとーと

青年

…ひろみおばさんもそうでした

戸板が開く、初枝入ってくる

初枝戸板から出てくる

ハヌル赤ちゃんを抱いて登場

青年

ハヌルさん。ここにいたんですね。なんで着替えているんですか

初枝

朝子。うちのひとに色目場使うな

ハヌル

ごめんなさい

青年

ひとつお尋ねしますが、その手にある赤ちゃんは？

初枝

ウチの子供ばい

青年 あのですね、この人は朝子じゃありません。ハヌルという素敵な名前があるんです

初枝 その子は朝子たい。ぐずでのろまで、そのくせに人の男を寝盗るような卑しい女たい

青年 いい加減にしろよ

ハヌル わたしは朝子

青年 ハヌルさん

ハヌル ぐずでのろまで、人の男を寝盗る卑しい女

時空よじれる 戸板の前にひとりの男

先ほどの隊長だった男、炭坑夫

軍艦島、朝鮮人専用遊郭

初枝、赤子を抱いている

炭坑夫 初枝さん。わたし今度戦艦に乗る事になったよ。まあ、補給船の給仕係だけど。

初枝 炭坑の仕事はやめるの？

炭坑夫 ええ。こんな状況だから、前線で頑張ってる兵隊さんの、少しでもお役に立ちたいと思ってね。初枝さん、これ預かってもらえませんか？炭坑で稼がせてもらったお金です。少しずつ蓄えました。無事帰ってきたら店でも開きましよう
ええ。

初枝 その子も自分の子供のように可愛がります。

炭坑夫 ありがとう。きつと幸江も喜ぶよ

初枝 少しの間待っててください

炭坑夫 あんたはすぐに話しを誇張して大きくするから、子供にお父ちゃんは軍艦の隊長だったんだぞなんて言いそうね

ポテト軍服で現れる

炭坑夫 本当の隊長を給仕係りにしたりしてね。

初枝 そんなことしたら客席は大混乱ですね。

炭坑夫 でも、記憶ってやつはあやふやなものですから。歴史だってそう

やって簡単に歪曲されるもんです。だけど、いつだって食が一番大事でしょう。食を扱う人が隊長みたいな物でしょう。（赤子抱き）この子がひもじい想いをしないですむように、たとえ貧しくても、どんなひとでも平等に食べられるもの、それでいて美味しいものを私は作りたいです。

時空よじれる 戸板の前にひとりの男消える

幸江赤子をあやしている

初枝

その子は朝子たい。ぐずでのろまで、そのくせに人の男を寝盗るような卑しい女たい。あん人は暫く帰ってこなかったと。なんでも難破して何年も漂流しよったらしい。軍艦島にはな、朝鮮人専用の遊郭があつてな。うちはもともとそこで働いとったんよ。戦後しばらくしてこの佐世保にうつった。あの人はな、生き延びる為になんでも食べた。虫も、糞尿も、亡くなつてもた兵隊さんの肉でもなんでもや。風の噂であの人が帰ってきたと聞いた時はそりゃ嬉しかったよ。うちは探した。必死こいて探したんや。

55

時空よじれる 戸板の前にひとりの男 隣にハヌル赤子を抱いている

先ほどの隊長だった男、炭坑夫

幸江 少女の姿

初枝

あんたいつ帰ってきたんね？教えてくれたら良かとやろ。でも、無事で良かったばい。：会いたかったと

：

ほら、ひろみも大きくなったでしょ。うちとあんたの子。覚えてるとでしょ？

初枝

隊長

朝子

青年

隊長

朝子

隊長

朝子

ごめんなさいすぐに用意します

（折檻棒でたたく）ぐずぐずしやがって、このうすのろとんま

ごめんなさい。ごめんなさい

隊長
青年
朝子

はやくしろ！
あんた何してるんだ
触らんでください。うちに構わんでください

ハヌルはける

初枝

あん人は狂うてしもた。きつと、人の肉喰ろうたときに、喰ろう
たひとの人格まで入り込んだんや。

青年

なにを馬鹿な

初枝

馬鹿はこの国や。戦争や。あんなに優しかったあん人をここまで
狂わせたんはこの国や。しゃーけどな、それでもうちはあんな人の
傍におりたかった、うちはひろみを連れてこの家に入った

一人の少女

少女

お父さんお酒持ってきました

隊長

(腕をひく) ぼーっとするな。つげ

少女

はい

朝子入ってくる

朝子

偉いね夢子。お父さんの世話して

少女

はい

朝子

しっかりとお願いね

少女

はい

青年

何してるんですかハヌルさん。正気に戻って下さい

朝子

：ハヌル

少女

ハヌルはまだ生まれていません

青年

は？あなたはだれですか？

夢子

母でもありその娘です

青年

ちよつと混乱させないで

夢子

迷宮がご所望でしょ

青年

こんな迷宮は望んでいない

夢子 ハヌルの事を知りたいんでしょ？

青年 そりゃまあ

夢子 ハヌルという存在が生まれるには、私が必要だった。そういう意味では私は母になるし、ハヌルという存在が生まれる前に私が存在しなければいけなかった。そういう意味では私は娘

青年 それじゃ今はお母さん？

夢子 娘です

青年 もういいです。僕達は早くここから抜け出したいんだ

夢子 イカロスの翼も見つけていないの？

青年 ここにあるんですか？

夢子 ここにあるかも知れないかもしれない

青年 知ってることがあれば教えて下さい

夢子 翼を作るのはダイダロスで私じゃなくてイカロスの父です。そして迷宮を作った張本人。そして私の愛した人。彷徨うこの子の本来の姿はアリアドネ。ミノタウロスに捧げられた7人の生贄の一人。本当に必要なものは翼じゃなくてここから引き上げてくれる蜘蛛の糸なのか？

青年 それじゃ僕はイカロスじゃなくてテセウスってこと？

夢子 あなたにはミノタウロスを倒す度量も、主役になる器量もありません。ノットイケメン

青年 その展開はもういいです。傷つくんで

夢子 でもあなたは優しい人。わたしの愛した人にそっくり。そうね、それに糸を使って迷宮を脱出しても、テセウスに裏切られて捨てられるし、アリアドネは殺されてしまうわ。アルテミスの矢でね。

初江なぜか弓を引く ハヌルに矢が刺さる

青年 ハヌルさん！何て事を。ハヌルさん！ハヌルさん！

朝子 ハヌルはまだ生まれていない。これから生まれるの

青年腰抜かす

青年 …ハヌルさん

夢子

私たちは皆アリアドネ。ミノタウロスに捧げられた生贄のひとり

夜ごと、ミノタウロスの角に犯される運命きだめ

矢を抜く

青年

何を？

父を刺す

夢子

母が病で倒れた日この人はとても悲しんだ。寂しかったこの人は娘の私を毎晩のように抱いたわ。何度も何度も。母の代わりに。私も愛したわ。母のかわりに。いつの日か私は朝子になっていた。そうしてできたのがハヌル。望まれぬ忌み子

初枝

私は家を出た。戦争から帰ったこの人は、人を喰らう化物になっていた

ハヌル立ち上がる

青年

ハヌルさんなんともないんですか？逃げましょう。やっぱり此処は変です

夢子

その子はハヌルじゃない。まだハヌルは生まれていない。その子が出産するの。その子は朝子の娘、朝子は私。その子は夢子

ハヌル

ごめんなさいお母さん。私は父と関係を持ちました

青年

何言ってるんですか？ハヌルさんしっかりしてください

ハヌル

私はあの人の娘。母を裏切って生んじやいけない子を生ましました。

青年

ハヌルは生んじやいけない子。生まれちゃいけない子
あなたはちゃんと生まれたし、元気に生活してた。それに僕を何

ハヌル

度も助けてくれた。あなたが居なかったらぼくは
あの子は生まれちゃいけない子

青年

しっかりして。いい加減にこのくだらない暗示をとけ

おつまみ

あなたを殺して私も死ぬわ

ハヌル

ごめんなさいお母さん

青年　　この人はお母さんじゃない

青年刺される

青年　　ハヌルさん

倒れる

夢子　　さあ、もう一度ドブ川に産み捨てるのよ

ハヌル　　私は、生まれちゃいけない子。生まれるべきじゃなかった子

ハヌル赤子と共にドブ川に沈んでいく

夢子　　私は産んだばかりのあの子をドブ川に捨てました

倒れている青年を残し皆いなくなっている　ミツキ入ってくる

ミツキ　　この世に存在しないはずの人間が持っている記憶は誰の記憶？

この世に存在しないはずの人間が持っている名前は誰の名前？

ハヌルが存在しないのなら、あなたが探している少女は誰？

ハヌルが存在しないのなら、あなたが過ごした時間は一体なに？

ハヌルから離れ去った意識に待っているのは同一の巨大な死。そ

れに属するのはただ廃絶した世界と消滅した青い空

お市入ってくる

お市　　死に待っているのは生。人は生きながら死に、死にながら生きる。

記憶のなかで死んだのなら、記憶のなかでまた生まれればいい。

次はもう少し上手くいくかもしれない

生まれるものが同一だとは限らない。過去の繰り返ししが現在とす

るのならば、次に生まれるときには違う自分かもしれない

名前が同じでも？

ミツキ　　：（悪い顔）あなたは自分の名前を思い出したの？

お市

…（笑顔とえぐい声）おもいだした。ぼくの名前はニギハヤミヤ
（ノイズで消える）

9 ちよんの間

〜ホルモン焼き屋の2階のちよんの間

国くにがなくなり流れはて

忘れ時わすの川向かわむここのあの人想ひとおもい

抱だかれる身体からだは天霧あまぎらす

籠かごの中の鳥なかとは 啄ついばむ彼岸花ひがんばな

嘗かつての白しろい羽はね すっかり汚よごれ

見みるも無惨むざんな月夜鳥つきよがらす

暁降あかとさくたちち 窓まどからのぞく残のこんの月つき

傍そばに流ながれるは 燈あかりも灯ともせん死人しびと川かわ

洗そい流ながせど 流ながしきれない罪つみの垢か

あなた重おもねるは お願ねがいわたしを抱かかいて

ひとり佇たたずむ少年しょうねんの見遣みやるは少女しょうじょ鳥曇とりぐもり

お宮倒たふれている青年せいねんを膝枕ひざまくらする

お宮

おーい！少年！

青年せいねん気がつく

青年　もうここまできたら誰がでてきても驚かないと思っていました
が：まさか、あなたに会うことになるとは
お宮　おい、少年！あんたはいつもしよんぼりしとるね
青年　もう、少年なんて呼ばれる年じゃありません
お宮　うちには十分少年に見えとるけどな
青年　あなたも誰かのいつかの記憶の残滓？
お宮　難しい言葉つかいよって
青年　すみません
お宮　例えば滓でもうちはうちや
青年　そう。なら良かった
お宮　謝るのはうちの方や。ごめんなあ。あんたが大人になるまで傍に
おるって約束してたのに急におらんなってしまもうて
青年　どこにいったんですか？：ってこれを聞くのは今日2度目
お宮　す
：そうか。うちはな国に帰ったよ。まあ、帰ったって言えるんか
は分からんけど。元いた国にはもう帰る場所はないって話しはし
たなあ
青年　うん
お宮　あんたも北の帰還事業って言葉くらい聞いたことあるやろ。地上
の楽園ゆうてな
青年　楽園なら連絡くらいしてくれてもよかった
お宮　：連絡せんやったのはそうゆうことちゃうかな
：
お宮　なんや珍しい。腹立ててんのか。：あんたはおりこうさんやった
からなあ。お婆ちゃんもひろみちゃんも朝まで働いとるし、いつ
つもしよんぼりして一人でご飯食べて、一人で遊んで：覚えてる
か？お宮ちゃんがようご飯持っていってあげてたの。うちが顔だ
したらばーって顔明るくして
青年　覚えてるよ
お宮　おりこうさんいうてもまだ子供やもんな、どうしても我慢でけん
時くらいある。「行かんて」って膨れっ面して泣きついて、よう
うち困らせたな。今のあんたみたいに
青年　そうだったかな

お宮 せっかくこうしてまた会えたのに。何を膨れっ面するん？

青年 またこうして会えたことは嬉しいです

お宮 そしたらばーって笑わな。

青年 (笑いたいけど) 笑えないです

お宮 安心し、うちはもうどこにも行かんよ

青年 傍にいて欲しかった

お宮 …ごめんなあ

青年 どうして

お宮 …ごめんなあ

青年 僕をおいて

お宮 …ごめんなあ

青年 あなたは死んだんだよ

お宮 …ごめんなあ

青年 …

お宮 シャーけどなあそこにおってもウチの心は死んどったよ。店で火の粉浴びながら働いて、身体も売って。ほんでも大したことない賃金やろ。安心し、恨んどるわけやない。そういう時代やったんや。皆必死に生きとっただけ。ただな、必死になるいうことは、

狂わなあかんときもあるねん。自分の心押しつぶさなあかん時もあるねん。シャーけど、うちにはどうしても覆い隠せんもんがあった。ただ、それだけや

青年 離ればなれになった好きだった人？

そう、よう覚えてるな。幼い頃の話しやけどな。分断で会えんようになってそれきりになってしまった人。

「モリ トロジヨド ガットウン ハヌル ル パラボジャ」

青年 …

お宮 一回だけ教えたったやろ？覚えてへんか？

青年 モリ

お宮 とおく

青年 トロジヨド

お宮 離れても

青年 ガットウン

お宮 同じ

青年
お宮

：
子供一人通れるくらいの穴が開いててお隣さんと繋がってた。そこは空き家であ。子供の頃あんたはその穴から隣の空き家に入って秘密基地みたいにして一人で遊んでた。いないはずの空ちゃんって子とな

青年

お宮

：
ドブ川に流れてきた小っちゃなペンギンさん見たあとくらいか
らかな

青年

お宮

：
あんたの記憶の中では流れてたんはほんまもののペンギンで

青年

お宮

：
流れてた少女は空ちゃん

青年

お宮

：
元気に生きてて、あんたの友達で、あんたを助けてくれて、あんたを守ってくれた

青年

お宮

：
うちな、出て行く前にな。あんたに手紙残してあげたんやで。あんまり書きすぎると、うちも離れられなくなる思ってたな…
たった一言「ごめんね。遠くへ行く事になりました。」って。

あんたが、無くしたってしょんぼりしてたファイブレッドの人形と一緒に、あんたの秘密基地に置いといたんよ

青年

お宮

うそだ…あの手紙は空ちゃんが
あれはうちが残した手紙

青年

じゃあさっきまで一緒にいたハヌルさんは？あれも嘘？全部嘘？違う。ぼくはさっきまで彼女と一緒にいた。彼女と冒険してたんだ。まるで僕を妄想狂の変人扱いをして、そうだあなたは僕をだまそうとしているんだ

お宮

青年

：
あなたはいない。もういない。僕を置いていなくなったあなたは
遠い異国で死んだ。あなたこそ存在しない

お宮

青年

：
あなたは幼かった僕を置いて…幼かった僕はあなたがいなくな
ったことを受け入れられなくて…受け入れられなくて

お宮

…ここでお宮ちゃんと過ごそう。昔みたいに
…安心し、うちはもうどこにも行かんよ

青年お宮の首に手をかける

青年

あなたはいない（またがり覆い被さる）

お宮

…うちのことで記憶から消すん？

青年

あなたはいない

お宮

…いいよ。おいで

お宮手を広げ首を絞められながら青年を抱きしめる

10 水鏡の間

ハヌル、青年とお宮のいた場所に座っている。

戸板は全て開かれ、戸板のあった場所は水鏡になっている。

ハヌル、水鏡に近づく。自分が映っている。

違う鏡に行く。自分が映っている。元見た鏡には別の少女が映っている。

4つ目の鏡の前で違う自分が映っていることに気づく。

5つ目の鏡に向かい自分が映っていることに安心する。

台詞の中でノイズのように青い空が映る

少女達

実在と影、主体と客体、身体と言語、理性と狂気、言語と物、ほんものとの偽物、真実と嘘、意識と無意識、内部と外部、内蔵と外蔵、記憶と現在、記憶と幻想、意味と無意味

ハヌル

ここはどこ？

青い空

あわせ鏡のせかい

ハヌル

え？

青い空

目覚めた世界と眠りの世界

ハヌル

なに？

青い空

生と死、彼岸と此岸

ハヌル

なにいつてるのよ？

青い空

目に見える世界と目に見えない世界

ハヌル

あなたはだれ

青い空

あなたは私、わたしはあなた

少女達

いれものと中身、入口と出口、始まりと終わり、現実と夢、話者と夢想者、自然と人間、神と人間、開閉途中の一つの戸板、中心と周縁、深層と表層、過剰と欠如

ハヌル

ねえちよつとだまってよ

少女たち

あなたは私、わたしはあなた。わたしとあなたは合わせ鏡

ハヌル

離して！私わたしよ！

青い空

アムステルダムの画家のケイスは言ったわ、『わたしたちは誰も自分の顔だけは絶対に見えない』って。あなたもそう思うでしょ？

ハヌル

わけわかんないこと言わないでよ。私には私の顔がよくわかってる

青い空

本当にそう？その顔があなたのものであって本当にそう言える？

ハヌル

よく見て：（死の接吻。ゆっくり唇が離れる）あなたは私。私はあなた。ほら：あなたの顔はこんな顔じゃなかった？

ハヌル

：わたし、またここに戻ってきたの？

青い空

人間球体理論って知ってる？人間はね、もともとは2つの頭と4

本の腕、それに4本の足を持っていたの。男でもあるし女でもあると同時に、男でも女でもないのよ。完全な平等な形。でも神様に2つに切り離されてしまうの。傲慢だっていうのよ。おかしいわよね。切り離されたから人は醜く争うようになったわ。私思うのよ。神様はきつとこの完成された人間球体を恐れたのかなって。だって、完全に平等なら神様の存在が必要なくなるものね。人は平等ではないから、人同士争い、他者を差別し、人自ら貧窮の道へ進みたがるでしょ？きつと崇められたい神様の策略だったのよ。だっていうでしょ？きつと崇められたい神様の策略だったのよ。でも崇める神様が違くとまた人は争うわ。本当に愚かよね。ねえ、神様って必要かしら？

ハヌル

わからないわ

青い空

私たちは離ればなれになったもう片方の自分を探しているの。もう片方の自分と巡りあった時完全な愛が誕生するのよ

ハヌル

その片方が私？

青い空

違うわ。あなたは私、私はあなた。ジヨルジュサンドの夢想者の

物語をお読みになったことは？

ハヌル
ありません

青い空
そう。残念。是非おすすめるわ。また長い時間ここにいるでしようし

ハヌル
なに言ってるの？

青い空
もう片方の自分は彼よ。私たちは彼と人間球体になるための空。無数の水の鏡に写しだされた無数に増幅された空

ハヌル
あなたが空？本当のハヌル？

青い空
あなたも空、あなたもハヌル

ハヌル
どうということ

青い空
人は一生のうちに何人も別の人間として生きるの。刻一刻と別のだれかが通り過ぎて、現在の自分になるのよ。あなたの時間は通りすぎて私の時間がやってくるの

ハヌル
私はいなくなるの？

青い空
私はあらわれるの

ハヌル
私は消えるの？

青い空
私は灯るの

ハヌル
わたしは死ぬの？

青い空
わたしは生きるの

ハヌル
そんなの、嫌よ

青い空
これは決まりよ

ハヌル
決まり？

青い空
ボルヘスの記憶の人、フネスをお読みになったことは？

ハヌル
いいえ

青い空
彼は超人的な記憶力を持っていたわ。でもその記憶力には弊害があった、3時14分に横から見た犬と、3時15分に前から見た犬が同じ犬だと理解ができないの。同じ犬を違った角度で記憶するから。すべてはバラバラに解体されて、記号化されるのね。「私」とはいったいだれか「多くの賢人たちが頭を悩ませたわ。フリーコ」は言った。過去と現在の非両立性は言語と人間の非両立性と平行している。そこには消し去りがたい一つの深淵のようなものがあり、私たちはそこに存在し、語っていると。

青い空、ハヌルを水鏡に閉じ込める
青年駆け込んでくる

青年

ハヌルさん！ハヌルさーん！

少女達

そのとき君は見るだろう、私の現在の身体が粉々に飛び散るのを
そして2万もの相の下でまた集まり、新たな身体をつくりあげる
のを、その身体を見れば、きみはもはや私を忘れられないだろう

青年

あなたは

青い空

空

青年

空？

青い空

そう。空

青い空青年を抱きしめる

ハヌル水鏡のなかから青年を呼ぶ

青年ハヌルには気付かない

2幕 終

ミツキデラックスが神妙に入ってくる

『10分間の休憩のアナウンス』

3幕

11 ジャズ喫茶とは名ばかりのスナック（アリラン）

現実世界

一人の歌い手がピアノで弾き語りをしている

〜ムーンリバー

30年後の夢子の姿（メグ）

バーテンダー お疲れさまです夢子さん。もうお客さん完パケしました。あちらに賄い用意してますのでどうぞ

夢子 ありがとうございます

バーテンダー どうしたんですか

夢子 いいえ、歌っている時にふと昔を思い出しちゃって

バーテンダー なんですか？聞かせて下さい

夢子 （メグスマイル）だめよお

バーテンダー えー、なんでですか

夢子 「女の一生」は、その中に何人の聖女や、娼婦を叩きこめたかという許容と、劇的変節によって確かめられるのよ

バーテンダー えっとどういう事ですか？

夢子 安易にのぞいちゃだめってこと。な・い・しよ

バーテンダー ちよっと夢子さーん。まいったなあ

夢子 （メグスマイル）今日で閉店なのね

バーテンダー ええ

夢子 あなたの作るパスタ好きだったわよ

バーテンダー ありがとうございます。温かいうちにどうぞ

夢子 ええ。いただきます

バーテンダー ええ。(夢子見送り独り言) いくつになっても可愛いんだから

からんころんと一人の男入ってくる

男 もう終いか？

バーテンダー いいですよ。今日で最後なんで。お客さんいなくなるまで閉める

つもりありませんでしたから。片付けますね

男カウンターをみて夢子がそこにいるのを確認する

男 カウンターでいいよ

バーテンダー そうですね。どうぞ

男 ああ

男カウンターに座る

夢子ちらりと男をみるが、すぐに前を見る

バーテンダー、カウンターの中に

バーテンダー 何飲みますか？

男 アードベック、ロックで

バーテンダー かしこまりました

夢子 わたしも飲もうかしら

バーテンダー え？何飲みますか？

夢子 同じ物

男ちらりと夢子を見るが、すぐに前を見る

男 遅くなったな

バーテン (驚きの目。とりなおし)

夢子 ほんとに

バーテン (驚きの目。とりなおし)

男 すまんかった

夢子 おかげですっかりおぼさんよ

男 お互い年をとったな

夢子 ええ

バーテンダーふたりを窺いながら出来た酒をだす

バーテンダー (邪魔をせぬよう) おまたせいたしましたあ

二人グラスを手に取りはじめて見つめ合う。

乾杯。バーテンダー気まずさから片付けたはずのテーブルへ、拭き掃除

音楽

男 店たたむんか

夢子 ええ

男 そうか

夢子 あなたに守ってもらったのね

男 気にすんな

バーテンダー あの一、お二人はいつたいどういったご関係で？すみません。普段はこんな野暮な事はしませんよ！でも、今日で最後だし！ほら、こんなもやもやして閉店しちゃたら、オレ気になっちゃって明日から眠れませんよ

二人みつめあい笑う

男 オレはな、この間まで懲役にいつとったんや

回想シーンと現在の男を入れ込みながら展開

暗転 女性の悲鳴とともに明転 若かりし夢子

過去・夢子 なにすんのよ！

チンピラ1　ここで商売すんなら払うもん払ったらんかい
チンピラ2　そうじゃこら！ぼけー、おらー

過去・夢子　他のお客さんに迷惑でしょ！帰ってください

男　若い頃の夢子は別嬪でな。この辺占めとる組頭に狙われとったんや

ボス　姉ちゃん。おれが誰か知らんのか？この辺占めさせてもらっとる阿部組のポテトいうもんや

男　しょーもない男やった。侠気の欠片もない、腐った連中よ

『いい加減に晒せっ！お嬢さんが困っとるやないか』

男　おい誰に向かって口聞いとんねん、だまっていねや

ボス　『おどれらみたいな者がおるから、わしらまで勘違いされるんじや、弱気を助けるのが任侠道よ、義侠心を失ったら極道じゃねえ、ただの愚連隊チンピラよ！オレが大人しうしとるうちにとっとといね』

ボス　なんやと？

男　おれが言い放つとやつらはいきり立ち襲ってきた

曲盛り上がる

ボス　つまみだせ

チンピラ1　映画の見すぎじゃぼけ

チンピラ2　死にさらせ

チンピラ1・チンピラ2　殴りかかる

男、立ち所にチンピラ1とチンピラ2を倒す

ボス、ビール瓶で男の頭をかち割る

男、膝から崩れ、頭から血を流す

ゆっくりと立ち上がり、振り返る。

ボスの攻撃をよけ反撃に出るも、割れた瓶ビールの切っ先がボスの両目をえぐる

ボス　目が目が。おどれ死にさらせー

目の見えないボス夢子に向かう。男庇い、腹に刺さる。ボスを殴り飛ばすも、吹き飛んだ先で後頭部を強打し泡をふく

チンピラ1・2 頭ー！頭ー！

チンピラ達ボスを抱えはけて行く

男 やつは運悪く後頭部を強打し、搬送先の病院で死んでしまった。目の外傷も酷く、おれの正当防衛は一切認められず、余罪として組の犯した罪を被る形で懲役25年の判決だった

バーテンダー そうだったんですね

男 オレが逮捕されるその時、夢子さんはオレに抱きついてきた

チンピラ1・2が警官になっている

手錠をかけたその時

過去・夢子 アンター

夢子抱きつく

警官1・2 何をしている。離れなさい

男 夢子さんは抱きつくふりをしておれの内ポケットに封筒に包んだ現金を忍ばせていた

過去・夢子 少ないですけど使ってください。少しでも早く出て来れるように

過去・夢子健気に走り去る 警官なぜか敬礼し上手下手に去る

男 嬉しかった。オレは嬉しかったよ。金にじゃない。こんなおれでも人様のお役に立てのかと思ってね

男内ポケットからボロボロの封筒を取り出す

男 夢子さん、世話になった金です

現在・夢子 結局使わなかったんじゃない。それだけじゃなくあなたは一切の施しを受けなかった

男 義侠心なんて格好つけましたがね、結局はおれもゴロツキ。世間様に迷惑かけて生きてきたんです。おれにはこの気持だけで十分だったんです

現在・夢子 これからどうするの？

男 運転免許とろうかと思っています。昔は組長の運転手もやってましたからね。運転するのが好きなんです。タクシーでも配達でもなんでもやるつもりです。

現在・夢子 それじゃそのお金で、教習所に通って。

男 それはできません。必死に勉強したんです。1発合格できますだめよ。確実にとらなきゃ。そして、私をドライブに連れていて

男 (目頭の熱さに耐えるのに精一杯) わかりました。必ず

現在・夢子 どうせ行くあてないんでしょ？行きましょ。積もる話し聞かせ

男 ええ

現在・夢子 (バーテンダーに) それじゃ、あと戸締まりお願いね

バーテンダー はい。とは言っても朝から取り壊し業者が来ますから開けっ放しですけど

夢子 そうだったわ。それじゃ

バーテンダー お疲れさまでした

二人去っていく

バーテンダー二人を見送ったあと、客席を見遣る

バーテンダー そろそろ皆様の代弁をしたいと思います。こんな芝居だったっけ。

さっ、おれも片付けて帰りますか

12 溝浚いの男

過去の夢子出てくる

〜ムーンリバー

浮浪者の青年がふらふらと入ってくる
同じようにして溝浚いの男が入ってくる

夢子

過去の自分と決別し違う人生を歩む。その行為をあなたは弱い
というのかしら。自分の嘘を本当だと信じているから、今出て行
った彼女は本物の偽物。私は彼女にとって、嘘ものの本物
空：あなたが水難事故で亡くなってから私は自分を偽った。あな
たは最初からいないのだと思う事でしか私は生きることができ
なかつた。耐えられなかつたの：

溝浚いの男

夢子さん。ぼくはあなたを探し続けました

夢子

なぜ？

溝浚いの男

真実が知りたかつたから

夢子

辛いだけの過去を掘り起こしてどうするの？

溝浚いの男

辛い真実だとしても、知らないでいることの方がよっぽどしんど
い思いをすることもある

夢子

：

溝浚いの男

私は、真実を知ることなく生きた彼の姿です。私は本当のことが
知りたい。空さんはいたんでしょうか？

夢子

いました

溝浚いの男

なら、なぜ私はその記憶を失ったのでしょうか？

夢子

幼かったあなたには重すぎる真実だから、大人達が隠したの。
忘れてしまった方が楽なこともあるから。それじゃ

過去の夢子去る

溝浚いの男

おい。お前はまだ空さんのことを覚えているのか？

青年

：

溝浚いの男

おい！答えろ！

バーテンダー入ってくる

溝浚いの男は見えている。青年は…

バーテンダー

うおー！びっくりしたー！なんですか？お客さんですか？誰で

すか？

溝浚いの男　すみません。急に。あの…ここに夢子さんという方はいらっしや
いませんか？

バーテンダー　夢子さん？ああ…このバーが出来る、前の店のママですかね？な
んかそんなような方だと聞いた気がします。詳しいことは…10
年以上前だし分からないですね

溝浚いの男　そうですか…

バーテンダー　お金

溝浚いの男　え

バーテンダー　お金もってないですよね？

溝浚いの男　あ、ああ（ポケットの小銭をカウンターへ）

バーテンダー　…32円。帰って下さい

溝浚いの男　ちよつとちよつとだけ待ってくれ。あそこにいる奴に話がある
んだ

バーテンダー指差された方見る。

バーテンダー　誰もいませんけど

溝浚いの男　いやいる。ほらここに

バーテンダー　ちよつとやめてくださいよ。オレそういうの苦手なタイプなんで

溝浚いの男　ほら良く見て！

バーテンダー　わー！急に大声出さないでください

溝浚いの男　頼む。彼と話しをさせてくれないか

バーテンダー　だめですよ。帰ってください。気持ち悪いんで。オレには何にも
見えません。

溝浚いの男　気持ちが悪いだと。君は僕を妄想狂の変人扱いするつもりか

バーテンダー　妄想狂の変人そのものですよ。…あーもう、わかりましたよ。5

分。5分だけですよ。5分以上たったら警察呼びますからね！

溝浚いの男　わかった

バーテンダー　なんなんだよ全く

バーテンダー遠くから見守る

溝浚いの男 5分しかないから単刀直入に言わせてくれ。空さんは存在した青年

バーテンダー ひとりでしゃべってるよ

溝浚いの男 やっと面を上げやがったな

バーテンダー 顔を上げたのね。どんな顔してるんだか？

溝浚いの男 相変わらずしょんぼりした顔しやがって

バーテンダー やべ、リンクしちゃった

溝浚いの男 オレとお前はリンクしている

バーテンダー え？いやいや、たまたま、たまたま

溝浚いの男 オレの顔に見覚えは

バーテンダー そういえばどこかで

溝浚いの男 そうだお前自身だ

バーテンダー え？

溝浚いの男 正確には未来のお前の姿だ

バーテンダー そんなオレあんなのになっちゃうの？

溝浚いの男 がっかりしたか

バーテンダー かなり

溝浚いの男 ；ちよつと集中させてくれないか

バーテンダー はいはい。すみません。(独り言) 何でオレが怒られなきやいけ

ないんだか

溝浚いの男 もう一度言うが空さんはいたんだ。お前も本当はわかっていたはずだ。お前がこの店に来たのが何よりの証拠だ。手掛かりを探し

にきたんだらう？

；

青年

溝浚いの男 ここが夢子さんのいなくなった10年後の店だって？そうやって、妄想して、現実逃避をしているんだらう？お前はいつだって

そうだ！見ろ！あそこにバーテンダーはいない！

；

バーテンダー消える

溝浚いの男 なぜ真実を知ろうとしない

青年 それを知ってなんになるんだ？

溝浚いの男 ；

溝浚いの男、手紙を出す

溝浚いの男

この手紙を書いたのはお前自身だ

青年

違う違う！それを書いたのはお宮ちゃんだ

溝浚いの男

そうさ！お前を傷つけない為にお宮さんが残した手紙だ。ごめんね遠くへ行くことになりました。ハヌル。とただ一言

青年

：

溝浚いの男

お宮さんは幼いお前が傷つかないように空さんが亡くなったのでは無く、遠い異国へ行ったかのように装った

青年

そうさ、お宮ちゃんの優しい嘘だったんだよこの手紙は

溝浚いの男

本当にそうか

青年

何が言いたい

溝浚いの男

お宮さんは字が書けなかったぞ

青年

：

溝浚いの男

お前は別に夢子さんに会いにここに来た訳じゃない。夢子さんは空さんが始めからいないかのように記憶を塗り替えた。お前はその記憶に擦り寄っただけだ。空さんを始めから存在しないことにして、自身の心の傷を最小限におさえるために

青年

：そうさ、その何がいけない。僕はこんな不毛な妄想にお別れをしに来たんだ

溝浚いの男

それだけか？お前がここへ来たのはここが、30年前に潰れたホルモン焼屋の跡地だからだ。お前の婆ちゃんは馬鹿な詐欺師の男に騙されて借金1000万を作り店を潰した。あげくボケてすぐにおっ死んだ。その後暫くして、この地に帰ってきた夢子さんが店を開いた。お前は長屋の壁穴の秘密基地。それを探しにきたんだろう？

青年

言ってることが矛盾しているぞ！長屋の壁穴の秘密基地ならなぜホルモン焼き屋の跡地に来る必要がある？

溝浚いの男

長屋は大火事で全焼したあと更地になった。今でもそこは更地のままだ。お前は町が無くなったように感じた。だが、ホルモン焼き屋の跡地のここだけは、改装されただけのこの店ならば、もしかすると思いが残っているかもしれない。そう思ったんだろ

う？

青年 なんの為に？

溝浚いの男 あ？

青年 なんの為に僕がここにこなければならぬのかと聞いている

溝浚いの男 イカロスの羽を探す為に

青年 そんなものはない

溝浚いの男 なぜ

青年 ：それは

溝浚いの男 お前が加筆したからだ

青年 ：

溝浚いの男 迷宮はお前自身だったんだ

青年 そうさ。その通りさ。僕が加筆した。それが悪いか？そうさ、現実逃避だよ。それが悪いか？僕はもう疲れたんだ。イカロスが太陽に焼かれて死んだように、せめて最後まで素敵な思い出に包まれていきたいんだ。その何が悪い？

溝浚いの男 だが、どうしても悪い方向にしか思考が進まない

青年 そうだよ、妄想ひとつ碌にできないんだ僕って奴は。本当にくそやろうだよ。あんたみたいになるくらいなら死んだ方がマシさ

溝浚いの男 とうとうはつきり言いやがったな。だからお前は明日取り壊されるこの店で

青年 そうだよ。ぼくは死に場所を探してたんだ。もう、いい加減黙れよ

バーテンダー入ってくる

青年に向かって

バーテンダー 何を騒いでるんですかあなたは？人の店で。

溝浚いの男 おい！もう少し時間をくれ

バーテンダー （見えていない）帰らないなら警察呼びますよ

青年 失礼しました

溝浚いの男 おい

青年 （振り返り）あなたのおかげで台無しだ（去る）

溝浚いの男 ：

バーテンダー　なんて失礼なやつ。最後の最後に変な奴に絡まれちゃって、こっちこそ台無しだよバカ。：やっぱり物騒だから戸締まりして帰るかな（奥へ消える）

溝浚いの男　：くそう：これでオレも消えるのか：こんな幕引きなのか：

カウンターから放下された少女が現れる

放下された少女　氷ー

溝浚いの男　うおーびっくりした！

放下された少女　冷たい冷たい

溝浚いの男　何で急にまた現れた

氷を口に放り込む

溝浚いの男　つめひゃいつめひゃい

放下された少女、手紙を手取る

放下された少女　ハヌルー

溝浚いの男　てひゃみてひゃみ

放下された少女　冷たい冷たい。ハヌルー

溝浚いの男　お宮さんの残した手紙だ

放下された少女、首を振る

放下された少女　ハヌルー

溝浚いの男　ハヌルと書いているがそれは嘘だ

放下された少女、首を振る

溝浚いの男　だからそれは：ちょっと待て待て。どこからが記憶でどこからが妄想でどれが現実にあった：

放下された少女　秘密基地　少年　空　二人だけの秘密基地　ドブ川　落ちた

溝浚いの男 君は何者だ

放下された少女 記憶

溝浚いの男 え

放下された少女 ハヌルの記憶

溝浚いの男 君がハヌル自身だと

放下された少女 私は彼が封じたハヌルの記憶

溝浚いの男 そうか。私は、私は、彼に謝りにいった男の記憶の残滓

バーテンダー さあ、まもなく取り壊されますよ。瓦礫とともに記憶も封印されるんです

破壊音

溝浚いの男 まて、彼女だけは残せ。彼は死を選ぼうとしている。せめて彼女

さえ残ればまだ思いとどまる可能性はある（覆い被さる）

私は記憶の溝浚い。この記憶だけは

バーテンダー 私は不完全な記憶として生を受けた、不完全なまま生き不完全な

まま死をとげる。次に生まれる時にはトランクケースを持つとう。

世界を旅するためのトランクケースを

暗転 轟音 転換

13 放下された少女と空

黒い長屋

黒い影の人たちが往来する

記憶の住人たち

ハヌル

まっくらな世界、まっくらくらな人達。私はこのまま消えるさだめ。この人達と同じようにまっくらになっていく。忘れられて消滅するの

机に座っている放下された少女。彫刻刀で何かを彫っている

ハヌル あなたは誰？どうしてあなたは色づいて見えるのかしら。

ねえ、その机見覚えがあるわ

放下された少女 秘密基地

ハヌル そうよ秘密基地の机。ねえ？なにを彫っているの？

ハヌル 近づこうとするが踏みとどまる

放下された少女 彼女を見遣るが再び彫り始める

ハヌル どうしてかしら、それを見に行くのがなぜだか怖いわ。

ハヌル 座り込む

放下された少女 ハヌルの手をひく

ハヌル だめだって。私、ここから動くのも怖いの

彫刻刀を差し出す

ハヌル これに触れば何かを思い出すのね？（逡巡する）一緒に持ってくる。

放下された少女 （うなづく）

ハヌル （触れる）そっかあなたは彼が記憶から消した私が死ぬ前日のたった1日だけの記憶

se 発光

秘密基地の机に少年と少女

同時に青年が記憶の長屋の二階屋に現れる

在りし日の少年と少女の会話

青年 何を彫るの？

ハヌル 離ればなれになってもまた会えるおまじない

青年 傘だ

ハヌル そう、傘と一緒に入るの。

青年 (書かれた字を読みながら) ハヌル。この隣にぼくの名前を彫る

の？

ハヌル そう。テスって彫って。

青年 (彫りながら) テス

ハヌル ほら、一つの傘と一緒に入ったでしょ

青年 これでまた会える

ハヌル うん。きっと

青年 どこへ行くの？

ハヌル お隣の国。でも少し遠い国

青年 僕が会いに行くよ

ハヌル テスは来ちゃだめ

青年 どうして

ハヌル まだ戦争してるんだって。だから危ないから

青年 じゃあハヌルもいっちゃやだ

ハヌル すぐに会える。そのためのおまじない

青年 会えなかったら探しに行く

ハヌル うん。雨の日はこの傘を思い出して。きっとテスに会えなくて私

が悲しんでる

青年 ずっと思ってるよ。一瞬だって忘れない

se 発光

少年と少女消える

ハヌル彫刻刀に想いを馳せる

放下された少女傘をさす

ハヌル

私は、親戚のおじさんに預けられて育った。お母さんは私を生んだ後、体調を崩したと聞かされていたわ。元いた国に帰ったとも。

7歳の時、おじさんの事業が失敗し私は引越すことになった。

母の知り合いでホルモン焼き屋を営んでる人がいたの。その人が、

長屋のひとつに私たちを住まわせてくれると聞いたから。優しい

お婆ちゃまだった。生きることの難しさを教えてくれた。

8歳、私はテスと出会った。いじめられっこのテスに。彼は毎日

のように私を訪れた。私しか遊べる友達がいなかったのね。

9歳私は初めて母に会った。彼女は泣いていたわ。ごめんさいと何度も。そして、一緒に国に帰ろうと。次の誕生日にまた迎えにくると、あなたと人生をやり直したいと、。テスは誕生日プレゼントにファイブマンの人形を貰っていたわ。彼はその人形を巡ってまたいじめられていた。ある日、ガキ大将にその人形をドブ川に放下された。私は拾いにいこうと言った。でも、彼はもういとふて腐れた。どうせ持ってたってまた虐められるんだと。10歳の誕生日を迎える前日、私はテスにキスをした。わざとかけっこに負けて。テスは秘密基地に私を招いてくれた。ここには誰も入っちゃいけないだよって。私はそこで彼に別れを告げた。そして、私たちは秘密基地の机で再会を誓った。

放下された少女傘をたたみ机へ

ハヌル 私は、この机の記憶の残滓？それとも、この彫刻刀？そのどちらも？

放下された少女 ハヌル
ここに残る彼女の記憶の残滓？教えて私はその後どうなったの？

黒い長屋の2階屋の青年に明かりが入る

青年 ハヌルがいなくなってから暫くして、見知らぬおじさんが僕を訪ねた。私のせいで彼女は死んだと、何度も何度も頭を下げた。そのおじさんはすぐに大人達に引きはがされて、帰っていった。幼かった僕には何のことだかさっぱりわからなかった。

放下された少女、ファイブマンの人形をハヌルに差し出す

ハヌル なぜ私にわたすの？
青年 僕はよくハヌルに怒られた。男じゃないのかつて。

ハヌル 人形を放下された日、彼女は取りに行こうと僕に言った
そう言った。でもあなたはもういいって

青年

大人になって知った。誓い合い、別れた後、彼女はひとりでその人形を取りに行ったことを

ハヌル

おじさんにとめられた。危険だからと

青年

彼女はぼくのせいで水難事故にあっていた。あの時見たのは君だったんだ。そして、その手には、放下されたはずのファイブマンの人形が握られていた。僕が不甲斐ないから、僕の所為で、彼女は死んだ

ハヌル

わたしは、この人形と手紙を彼に残したかった。いじめなんかには負けないで強く生きて欲しかった。一言だけ書いた私の本当の手紙は、「きつと私を見つけ出してね。ハヌル」

〜流れるひとり

風がささやく あの子はいないと

白い煙が 僕の目を焼け焦がし

涙 こぼれて 逆さま回廊

風がささやく あの子がしんだと

名無し川から 立ち込める酸っぱいにおい

涙 あふれて 逆さま回廊

瓦礫のうえで 横たわる 君は

黒く氷ついて ずぶ濡れの ひとり

血の翼ひろげ 空たかく 舞い上がれ

流れる 先は 逆さま回廊

ひとりひとりもう一度走ろう

ひとりひとりゆびきりげんまん

ひとりひとりもう一度あそぼう

ひとりひとり君に会いたいよ

ひとりひとりもう一度

青年とハヌル、放下された記憶の間で再会

青年 どうしてあなたがいるんですか？
ハヌル 見つけたの。羽
青年 それは何？
ハヌル あなたから消えた記憶のかけら
青年 記憶のかけら？
ハヌル ありがとうね。ずっと想っていてくれて
青年 そんなお別れの挨拶みたいに言わないで
ハヌル 別れがあれば出会いもあるだろ。世界は鏡合わせ。死があれば生
もある。ほんの少しの間会えなくなるだけさ
青年 また会える？
ハヌル あなたが私を想い続けてたらね。あんたは私で、私はあんた。
青年 今だって想ってる
ハヌル 私もさ
青年 きえないで
ハヌル 少しねるだけ
青年 だめだ
ハヌル わがまま言わない
青年 だって
ハヌル 大丈夫大丈夫。ごめんね。また遠くにいくね
青年 いやだ
ハヌル あんたが加筆する前に先に言うよ。
青年 ……
ハヌル ……また私を見つけてね

青年うなづく

ハヌル青年の頬に口づけをする

ハヌル消えていく

15 ごみたちの記憶・百鬼夜行

お市 愛だ

ほくろ これが愛

いぼじ ぼー（大泣き）

お市 時空も時間も常識も超越した真実の愛だ

ほくろ お市さんはこれを私たちに見せたかったのですね

お市 そうじゃ

いぼじ ぼー

ほくろ いぼじ五月蠅い。せつかくの良い雰囲気が台無し

いぼじ オレも愛が欲しいー

ほくろ 無理よ。だって私たちはごみだもの

いぼじ なぜごみは愛されないんだ！捨てたのは人間共じゃないか

ほくろ そんなこと私に言われても

お市 お前達もかつては愛されたことはある。その記憶を失っただけだ

いぼじ 誰だー！オレを愛してくれる人はー！

ほくろ 誰よー！私たちを愛してくれる人はー！

お市 慌てるな！それを今から探しに行くんじゃ

いぼじ・ほくろ 見つかるかなー

お市 お前達が今日にしたのはなんじゃ？愛はある。海に泳ぐお魚ちゃ

んを愛せば原発処理水も流さない。愛があれば世界は平和じゃ！

さあ集えゴミ共！愛を探す旅じゃ！百鬼夜行じゃー

曲が流れ込む

へゴミ達の葬列・百鬼夜行

放下ほかされた水子みずこ何想う

紅掛空くれかけそらに駆ける現うつし身子

白い煙を掻き分けて

また逢おうと指きりげんまん

夢うまはしの浮橋うきはしかかうるか

月魄げつぱく降り立つその川辺

呱呱ここでにぎわう夜去方よるさかた

星の出入り頬かすめ

もう逢えないと身を知る雨

涙流れど地獄川暗く

放下された少女何想う

ごみの百鬼夜行と何処へへ

記憶の作った百鬼夜行と供にハヌルは消える

青年は一幕オーピングと同じ出で立ち佇む

風

青年溝川の中に飛び込み必死に記憶の欠片を探す

青年、しゃれこうべを拾い上げる

音楽

青年、しゃれこうべに語りかける

青年

僕は僕の頭のままで、君を想い、君を考え続ける。君と舟に乗って宝探しへでかけ、君とゴンドラに乗って新婚旅行へ繰り出し、君と気球に乗って星を広い集め、君と潜水艦に乗って海底人に会いにもいく。

兄と妹、仲の良い夫婦、ピクニックで戯れる恋人、学校の先生と生徒、ケーキ屋さん、お花屋さん。僕は僕の頭のままで、君を考え、君とおままごとを繰り返す。君はいつも笑顔で僕を見ている。君が笑ってくれるなら僕は何にだってなれる。生きるよハヌル。僕は進む。前に進むよ。ぼくはぼくのまま、ぼくはぼくのまま

曲高まる

青年

そーらーちゃん！あーそーぼー

曲高まる

振り落としが落ちると大きな翼を広げたハヌル

在りし日の少年と少女が翼の奥でかけっこをしている
いつまでも繰り返されるおままごと

これが僕の在日話し

完